

令和4年11月22日
経済文教委員会提出資料

令和4年度

**教育に関する事務の管理及び執行状況
の点検・評価に関する報告書
(令和3年度対象)**

**令和4年11月
帯広市教育委員会**

目 次

1	教育委員会の概要	1
	(1) 組織	1
	(2) 主な職務権限	1
	(3) 令和3年度教育委員会の活動状況	2
2	点検及び評価の基本的な考え方	5
	(1) 趣旨	5
	(2) 対象	5
	(3) 方法	5
	(4) 学識経験者の知見の活用	5
	(5) 帯広市教育基本計画の施策体系	6
3	点検及び評価の結果	8
	(1) 基本目標 夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり	8
	(2) 基本目標 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり	36
4	教育に関する学識経験者の意見	54
	参考資料	56
	資料1 令和3年度教育行政執行方針	57
	資料2 令和3年度予算決算	59
	資料3 令和3年度における主な取り組み一覧	61
	資料4 成果指標の推移	69
	資料5 課題及び今後の方向性に対する令和3年度の取り組み	74

1 教育委員会の概要

(1) 組織

教育委員会は、政治的中立性を維持しつつ、安定性・継続性を確保して教育行政を管理・執行するため、首長から独立した合議体の執行機関として設置されています。帯広市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長及び4人の教育委員で組織されています。

帯広市教育委員会（令和4年3月31日現在）

- 教育長 池原佳一（令和元年10月26日就任）
- 委員 田中厚一（平成19年4月1日就任）
- 委員 藤澤郁美（平成27年6月23日就任）
- 委員 佐々木しゅり（平成28年6月23日就任）
- 委員 柳川久（令和2年12月21日就任）

(2) 主な職務権限

- 教育行政の一般方針に関すること。
- 委員会規則及び規程の制定及び改廃に関すること。
- 不服申立及び訴訟に関すること。
- 学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。
- 通学区域の設定及び変更に関すること。
- 職員（道費負担職員を除く。）の任免、分限及び懲戒その他の人事に関すること。
- 道費負担職員の校長及び教頭の任免並びに道費負担職員の分限及び懲戒の内申に関すること。
- 社会教育委員の委嘱及び解職に関すること。
- 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
- 教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案についての意見申出に関すること。
- 教科用図書採択に関すること。
- 重点計画の策定及び変更に関すること。

(3) 令和3年度教育委員会の活動状況

① 教育委員会会議の開催状況

期日	番号	案件
令和3年4月23日	その他	(1)帯広市議会3月定例会の報告について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について
令和3年5月18日	議案第18号 議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 報告第13号 その他	令和3年度帯広市一般会計補正予算(第5号)について 帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン(第2期)について 帯広市社会教育委員の解職について 帯広市社会教育委員の解職について 公の施設の指定管理者の指定について 帯広市教育支援委員会委員の解職及び委嘱について (1)今後の事業予定について (2)教育委員会における緊急事態宣言発令に伴う取り組みについて
令和3年6月29日	報告第14号 報告第15号 報告第16号 報告第17号 報告第18号 報告第19号 報告第20号 報告第21号 その他	帯広市学校給食センター運営委員会委員の任命について 帯広市教育研究所運営委員会委員の委嘱について 第9回中城ふみ子賞受賞者について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について (1)帯広市議会6月定例会の報告について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について
令和3年7月20日	議案第23号 報告第22号 報告第23号 報告第24号 報告第25号 報告第26号 報告第27号 報告第28号 報告第29号 その他	帯広市社会教育委員の委嘱について 帯広市青少年問題協議会委員の委嘱について 帯広市民文化ホール運営審議会委員の委嘱について 「帯広岩内自然の村」の方向性の検討について 帯広百年記念館運営市議会委員の委嘱について 帯広市文化財審議会委員の委嘱について 帯広市スポーツ推進審議会委員の解任及び任命について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について (3)教職員等のワクチン接種について
令和3年8月24日	議案第24号 議案第25号 議案第26号 議案第27号 その他	令和3年度帯広市一般会計補正予算(第9号)について 大空小学校跡地跡施設利活用方針について 教科用図書の採択について 高等学校用教科用図書の採択について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
令和3年9月3日	議案第28号 その他	令和2年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定について (1)今後の事業予定について (2)教育委員会における緊急事態宣言発令に伴う取り組みについて
令和3年9月15日	議案第29号 議案第30号	令和3年度帯広市一般会計補正予算(第11号)について 損害賠償の額の決定及び和解について
令和3年9月22日	議案第31号 議案第32号	令和3年度帯広市文化賞及び文化奨励賞等の決定について 令和3年度帯広市スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の決定について
令和3年10月28日	議案第33号 議案第34号 報告第30号 報告第31号 報告第32号 報告第33号 報告第34号 報告第35号 報告第36号 報告第37号 報告第38号 報告第39号 報告第40号 報告第41号 その他	令和4年度帯広市立高等学校の入学者募集について 令和3年度帯広市市民文芸賞及び市民文芸準賞の決定について 帯広市教育支援委員会委員の委嘱について 帯広南商業高等学校教職員の再任用に関する方針について 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について (1)帯広市議会9月定例会の報告について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について

期日	番号	案件
令和3年11月9日	議案第35号	令和3年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について
令和3年11月25日	議案第36号 議案第37号 議案第38号 議案第39号 報告第42号 報告第43号 報告第44号 その他	令和3年度帯広市一般会計補正予算(第13号)について 公の施設の指定管理者の指定について 公の施設の指定管理者の指定について 公の施設の指定管理者の指定について 帯広市青少年問題協議会委員の委嘱について 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について とちがちな運営審議会委員の委嘱について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
令和3年12月10日 令和3年12月27日	議案第40号 報告第45号 報告第46号 その他	令和3年度帯広市一般会計補正予算(第14号)について 令和3年度とちがちなジュニア文芸各賞の決定について 「帯広岩内自然の村」の利活用に係る民間提案型調査の実施状況の報告について (1)帯広市議会12月定例会の報告について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について
令和4年1月25日	報告第1号 その他	大空学園義務教育学校の教育課程について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
令和4年2月22日	議案第1号 議案第2号 議案第3号 報告第2号 報告第3号 報告第4号 報告第5号 報告第6号 その他	義務教育学校の設置に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について 令和3年度帯広市一般会計補正予算(第18号)について 令和4年度帯広市一般会計予算について 令和3年度帯広市教育研究実践表彰並びに帯広市学校文化活動奨励賞について 帯広市教育支援委員会委員の委嘱について 帯広市奨学生選考委員会委員の委嘱について 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
令和4年2月25日	議案第4号	令和3年度帯広市一般会計補正予算(第19号)について
令和4年3月9日	議案第5号 議案第6号	令和3年度帯広市一般会計補正予算(第20号)について 教職員の人事内申について
令和4年3月22日	議案第7号 議案第8号	職員の人事について 職員の人事について
令和4年3月29日	議案第9号 議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 報告第7号 報告第8号 その他	義務教育学校の設置に伴う関係関係教育委員会規則の整理に関する規則制定について 帯広市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 帯広市教育施策推進委員会設置規程の一部改正について 帯広市立高等学校学則等の一部を改正する教育委員会規則制定について 職員の処分について 令和4年度帯広市学校教育指導の重点について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について (1)帯広市議会3月定例会の報告について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について

・教育委員会会議開催回数 19回
 議決案件 36件 うち非公開 23件 (うち所定の手続き後会議録を公開 21件)
 報告案件 42件 うち非公開 24件 (うち所定の手続き後会議録を公開 6件)
 その他 30件

〔参考〕教育委員会会議の非公開について
 教育委員会会議は、公開が原則ですが、①個人の権利を侵害するおそれのあるもの、②職員の任免、賞罰、人事等、③議会の議案に係る意見申出、④訴訟、不服申立に係るもの、⑤教育行政の公正、円滑な運営に支障が生じるおそれがあるものについては、出席委員の3分の2以上の多数で、公開しないことができます。(帯広市教育委員会会議規則第16条)

② 課題研究協議会開催状況

回数	期日	テ - マ
1	令和4年1月25日	大空学園義務教育学校の教育課程について

③ 総合教育会議の開催状況

期日	番号	案件
第1回 令和3年11月25日	協議事項	大空学園義務教育学校に期待すること

〔参考〕総合教育会議について

帯広市総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4第1項に基づき設置するもので、以下の事項について、帯広市長と帯広市教育委員会による協議及び事務の調整等を行うこととしています。

- (1) 帯広市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定
- (2) 帯広市の教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき措置
- (3) 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置

④ 研修会参加状況

期日	場所	研修会等	出席者
令和3年11月16日	帯広市	令和3年度十勝管内市町村教育委員研修会	5人

1回 延べ5人

⑤ 行事等参加状況

期日	行事名	出席者数
令和3年7月7日～ 令和4年1月26日	市内小中学校公開研究会等	24人
令和3年10月10日	よつ葉アリーナ十勝オープニングセレモニー	3人
令和3年10月10日	帯広市スポーツ賞・スポーツ奨励賞表彰式	3人
令和3年10月17日	柏小学校創立100周年記念式典	3人
令和3年11月2日	大空小学校閉校式	1人
令和3年11月3日	帯広市文化賞・文化奨励賞・文化活動功労賞表彰式	5人
令和3年12月4日	帯広市民文芸賞表彰式	1人
令和4年1月9日	帯広市成人の集い	1人
令和4年2月25日	教育研究実践表彰式	1人
令和4年3月5日	大空中学校閉校式	1人
令和4年3月26日	大空学園義務教育学校 一般公開	2人

延べ45人

2 点検及び評価の基本的な考え方

(1) 趣旨

効果的な教育行政の推進をはかるとともに、市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育の取り組みについて点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、あわせて市民に公表するものです。

(2) 対象

「帯広市教育基本計画（令和2年度～令和11年度）」の体系に従い、令和3年度に実施した取り組みを対象として、点検及び評価を実施しました。

(3) 方法

点検及び評価は、第七期帯広市総合計画の施策・事務事業評価と整合をはかりつつ、「帯広市教育基本計画（令和2年度～令和11年度）」の「個別施策」ごとに行いました。具体的には、成果指標の達成状況や令和3年度における主な取り組みなどを踏まえながら、令和3年度における取り組みの成果と、課題及び今後の方向性の2つの観点から、点検及び評価を行いました。

(4) 学識経験者の知見の活用

学識経験者から点検及び評価に関する意見や助言をいただき、教育委員会が点検及び評価を行うに当たって客観性を確保するとともに、今後の取り組みに活用していきます。

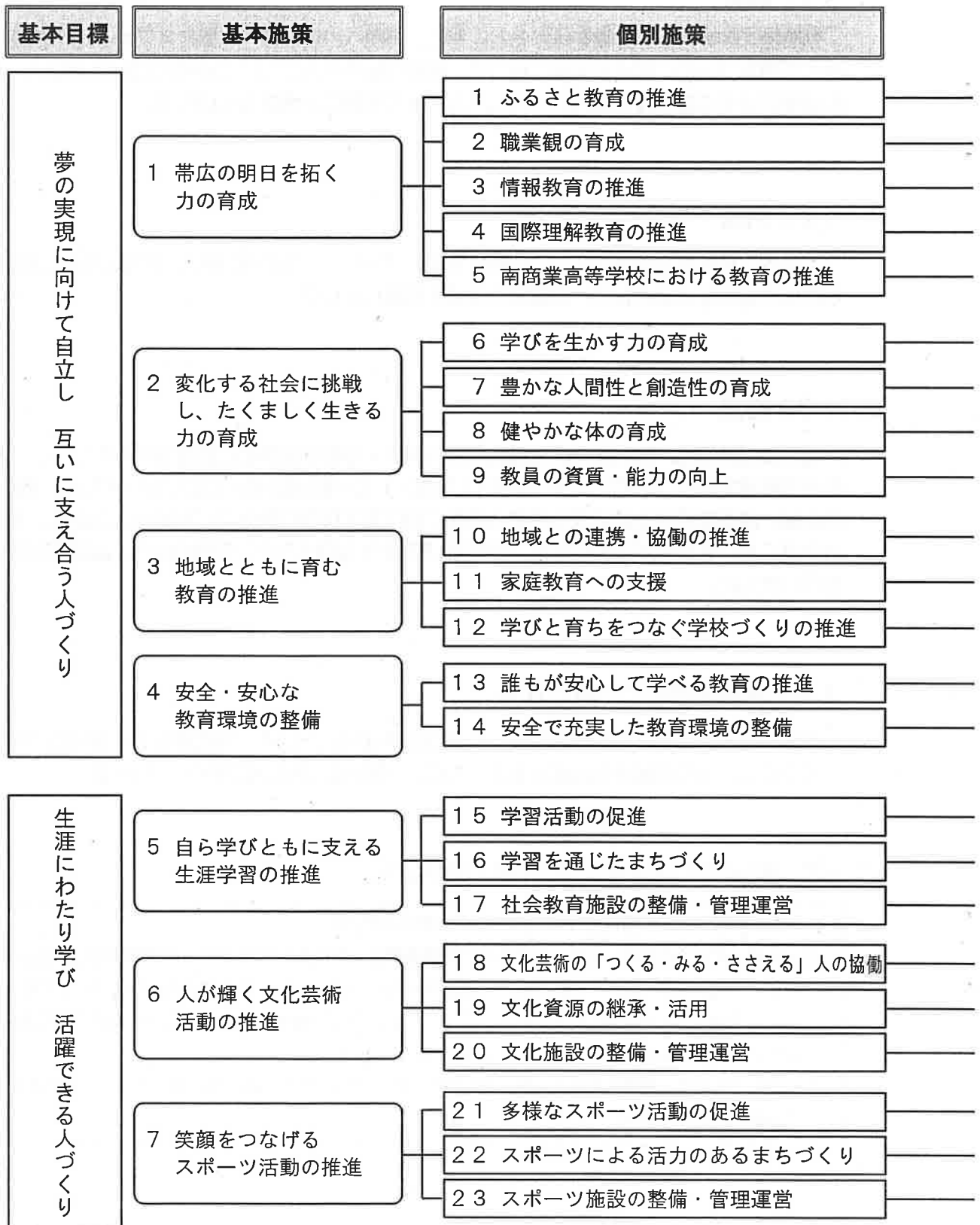
参考1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(5) 帯広市教育基本計画の施策体系



めざす姿

子どもたちが地域に誇りと愛着を持ち、社会の一員として地域活動に積極的に参加しています。

子どもたちが様々な職業に興味を持ち、働くことの大切さや地域産業への理解を深めています。

子どもたちがインターネットに関する基本的なルールを理解し、情報通信機器を正しく活用しています。

子どもたちが世界の多様な文化に関心を持ち、外国の人と交流しようとする姿勢を身に付けています。

生徒たちが専門的な知識・技術を身に付け、地域で活躍する人材が育っています。

子どもたちが意欲的に学び、課題の解決に粘り強く取り組んでいます。

子どもたちが互いの価値観を尊重し、多様な人と協力し取り組んでいます。

子どもたちが運動に親しみ、心身ともに健康的な生活を送っています。

教員が子どもたちと向き合い、子どもたちの力を引き出す指導が行われています。

地域の人たちが子どもたちの教育に積極的に関わり、健やかな成長を支えています。

各家庭において、子どもたちが規則正しい生活習慣や社会的なマナーを身に付ける教育が行われています。

学校間の連携により、子どもの個性を理解し尊重した指導が継続的に行われています。

障害の有無や家庭の経済状況等に関わらず、誰もが安心して学んでいます。

安全で機能的な学校施設の整備など、良好な教育環境のもとで、子どもたちが充実した学校生活を送っています。

誰もが生涯にわたり、目的やライフステージに応じた学びを続けています。

学習を通じて身に付けた知識や経験をまちづくりなどに生かしています。

社会教育施設が積極的に活用され、多様な学習活動が行われています。

文化芸術活動を通じて、心の豊かさや生きがい、人とのつながりが生まれています。

歴史、伝統、文化への理解を通じて、ふるさとへの誇りと愛着を持っています。

市民が文化施設に魅力を感じ、積極的に活用しています。

誰もが、「する・みる・ささえる」など多様な形で、スポーツに親しんでいます。

誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツで集い、まちの賑わいづくりにつながっています。

スポーツ大会の開催をはじめ健康増進や仲間づくりなど、多くの方がスポーツ施設を活用しています。

3 点検及び評価の結果

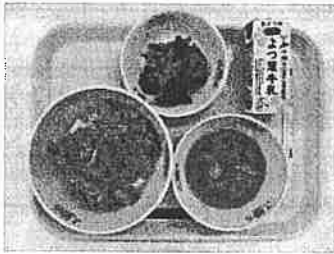
(1) 基本目標 夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり

基本施策1 帯広の明日を拓く力の育成

個別施策	1-1 ふるさと教育の推進
めざす姿	子どもたちが地域に誇りと愛着を持ち、社会の一員として地域活動に積極的に参加しています。
施策担当課	学校地域連携課、学校給食センター、学校教育指導課、教育研究所、児童会館、百年記念館、動物園、スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子どもの割合 (%)						
区分	基準値	実績値					目標値 (R11)
	[H27~R1平均]	R2	R3	R4	R5	R6	
小学	44.7	39.4	48.8				60.0以上
中学	39.1	38.9	41.1				55.0以上

<成果指標の達成状況>
R2と比較して小学校では9.4ポイント、中学校では2.2ポイント増加し、目標値に向けて進歩しています。「おびひろ市民学」を小中学校で延べ500講座実施し、授業協力者との関わりが十分に醸成されたことによるものと考えられます。


令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆帯広らしい学校給食の提供</p> <p>学校給食において地元の農業関係者等と連携し、地場産野菜を取り入れた、帯広らしい学校給食を提供しました。</p> <p>「ふるさと給食」(9月~11月の各月・3コース各1日)では、帯広牛と豊西牛を使った「帯広牛トンすき焼き丼」や川西青年部が育てた野菜を使用した「川西カレー」を提供するなど、地場産食材を積極的に活用し、地域の食や産業への理解促進をはかりました。</p>	 <p>帯広牛トンすき焼き丼</p>

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)地域資源を活用したふるさと理解の促進</p> <p>「おびひろ市民学」において、十勝・帯広の歴史や文化、自然や産業等について小中学校9年間を通して系統的に学び、郷土への愛着や誇りを育むとともに、様々な体験を通じて地域社会の一員としての意識を育む教育をすすめました。また、関係団体の新規協力を拡充したほか、学校以外の各種教育施設においても、それぞれの特色を活かし、展示や各講座等を通じた学びの機会を提供しました。</p>
	<p>(2)食を通じたふるさと理解の促進</p> <p>「ふるさとの日」や「学校給食週間」における、地場産食材を活用した「ふるさと給食」の提供を通じて、児童生徒における地域の食や産業への理解促進をはかりました。また、「おびひろ市民学」において「帯広らしい食育プログラム」を実施し、栄養教諭や食育指導専門員による、食を通じたふるさと理解をすすめました。</p>
	<p>(3)地域社会に参画する意識の醸成</p> <p>各団体等と連携し、体験活動やリーダー研修を通して地域や学校での活動に取り組む青少年リーダーの養成を行いました。また、まちづくりに参画する社会の一員としての意識づくりのため、租税教室において租税の役割や公共施設の整備について理解を深めるとともに、小中学校において親子防災講座を実施しました。</p>
	<p>(4)環境教育の推進</p> <p>環境破壊や自然災害を自らの課題として捉え、課題解決に当たる主体性を育むため、実社会との結びつきを意識した教育をすすめたほか、児童会館や百年記念館での展示・出前講座等により環境について考え学ぶ機会を提供しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)地域資源を活用したふるさと理解の促進</p> <p>郷土への愛着や誇りを育むため、引き続き「おびひろ市民学」による学びをすすめるほか、関係団体の新規協力の拡充をはかります。また、地域資源や特色を生かしたスポーツ体験や、動物、科学等に触れる機会を提供します。</p>
	<p>(2)食を通じたふるさと理解の促進</p> <p>地域の食や産業への理解促進を目的として、今後も地場産食材を活用した「ふるさと給食」の提供を行うほか、「おびひろ市民学」における「帯広らしい食育プログラム」を実施し、栄養教諭や食育指導専門員による、食を通じたふるさと理解をすすめます。また、新型コロナウイルス感染症対策を講じた生産者との交流機会について検討します。</p>
	<p>(3)地域社会に参画する意識の醸成</p> <p>各団体等と連携し、感染症対策を実施しながら、体験活動やリーダー研修を行い、養成事業の充実をはかります。また、子どもたちが消費者の権利や責任ある消費行動を理解し、計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組み等の基本的な知識を身に付ける機会を提供するほか、小中学校において親子防災講座を実施し、ボランティアや防災活動への参加等への意識を高めます。</p>
	<p>(4)環境教育の推進</p> <p>学校での環境教育を推進し、子どもたちが地域の自然環境について学び・考える機会を設けるほか、帯広の自然や学校以外の教育施設を活用した体験機会を設けます。</p>

個別施策	1-2 職業観の育成
めざす姿	子どもたちが様々な職業に興味を持ち、働くことの大切さや地域産業への理解を深めています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合 (%)						
区分	基準値 【H27~R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	93.6	93.8	95.6				100.0
中学	94.6	95.6	95.5				100.0

<成果指標の達成状況>
R2と比較して小学校では1.8ポイント増加し、中学校では0.1ポイント減少しましたが、基準値を上回っており、目標値に向けて進捗しています。各校におけるキャリア・パスポートの活用による系統的な指導の充実や、一人一台端末の活用によるインターネット等を活用した多様な調べ学習が行われ、理解を深められたことによるものと考えられます。

令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆学校におけるキャリア教育</p> <p>小中学校において、子どもたちが将来を見据えて様々な職業に興味を持ち、働くことの大切さや、十勝・帯広の産業をはじめとする多様な職業について理解を深め、地域社会の一員としての意識を育むため、インターネット等による調べ学習やキャリア・パスポートを活用した系統的な指導を実施したほか、感染症対策を講じながら外部講師を招いた授業等を行いました。</p>	 <p>おびひろ市民学において使用されるキャリア・パスポート</p>

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)学校におけるキャリア教育の推進</p> <p>多様な職業について理解を深め、地域社会の一員としての意識を育むため、感染症対策を工夫しながら外部講師を招いた授業等を行いました。また、一人一台端末を活用したインターネットによる調べ学習やキャリア・パスポートを活用した系統的な指導に取り組みました。</p>
	<p>(2)職業体験機会の充実</p> <p>おびひろキッズタウンは、子どもたちが職業体験や社会体験にチャレンジし、楽しみながら社会のしくみを考えることで、働くことの意味や楽しさ、お金の価値等を学ぶ機会を提供することを目的としています。令和3年度は感染症の流行により中止となりました。</p> <p>図書館では、令和3年度におけるインターンシップや実習の受け入れは行いませんでしたが、小学生を対象にした「なりきり図書館員」事業は感染症対策を徹底し、内容を見直して実施しました。</p> <p>百年記念館においては、中高校生向けのインターンシップとして、博物館での仕事を体験する機会を提供していますが、令和3年度は感染症の流行により中止となりました。</p> <p>動物園では、飼育体験等の講座実施のほか、大学生の博物館実習やインターンシップの受け入れ、小中学校からの依頼による職業調べや講話を通じ、飼育員や獣医師の仕事について理解を深める機会を提供しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)学校におけるキャリア教育の推進</p> <p>「おびひろ市民学」において「キャリア・パスポート」の視点を取り入れた「おび学ファイル（ポートフォリオ）」を9年間継続して活用することで、系統的な学びの充実による社会的・職業的自立に向けたキャリア意識の向上がはかれるよう、指導・助言を継続します。また、積極的にキャリア教育に取り組んでいる学校の事例について、学校間連携がはかれるよう情報を共有します。</p>
	<p>(2)職業体験機会の充実</p> <p>おびひろキッズタウンについては、関係課や参加企業との協力体制を継続し、感染症対策を含めた運営方法や開催時期等の協議を行いながら実施します。</p> <p>図書館においては、継続的にインターンシップや実習の受け入れ依頼があることから、感染症の流行状況に応じて、職業体験機会を提供します。</p> <p>百年記念館においては、地域資料を収集する博物館としての特色を活かしたインターンシップを継続し、地域に根差した職業体験機会を提供します。</p> <p>動物園においては、飼育体験等の事業におけるアンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実にむけて取り組みます。</p>

個別施策	1-3 情報教育の推進
めざす姿	子どもたちがインターネットに関する基本的なルールを理解し、情報通信機器を正しく活用しています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課

成果指標の状況							
指標名	授業でコンピュータなどのICTを活用したいと思う子どもの割合 (%)						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	87.4	81.0	—				90.0以上
中学	73.8	79.0	—				80.0以上

<成果指標の達成状況>
 ※全国学力・学習状況調査(文部科学省)における調査項目がなかったため、R3実績値はありません。

令和3年度の主な取り組みの内容
<p>◆インターネットの安全利用に関する啓発活動</p> <p>帯広市生徒指導連絡協議会との共催により、生徒指導担当教員を対象とする講演会を開催し、専門的知見を有する講師からネットいじめや性被害等のトラブル防止方法、安心安全なインターネットの利用方法について学びました。学校では、子どもたちが、SNS やインターネットの安全利用に関する正しい知識を身に付けることができるよう啓発活動に取り組んでいます。</p> <p>また、十勝総合振興局と合同で携帯電話販売店26店への立入調査を行い、フィルタリングサービス提供の推進に取り組みました。</p>




専門家による講演会の様子

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)情報活用能力の育成</p> <p>各学校の教育課程編成において、「総合的な学習の時間」に情報を整理・比較し、発信・伝達する力を育成するため、一人一台端末等のICTを活用した学習活動に取り組みました。また、長期休業中における研修講座や、おびGIGA支援員派遣による校内研修により、教員のICT活用指導力の向上に取り組みました。</p>
	<p>(2)情報モラルの育成</p> <p>各学校において、「特別活動」「道徳科」及び「総合的な学習の時間」で、情報モラルについての正しい知識を身に付けるため、著作権やプライバシーの保護等について理解を深める学習をすすめるよう教育課程を編成しました。また、関係機関との連携による講演会の開催や販売店への立入調査などを実施し、インターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組みました。</p>
	<p>(3)プログラミング教育の推進</p> <p>コンピュータに意図した処理を行うよう指示するプログラム体験を発達の段階に応じて実施する等、プログラミング的思考やICTを活用するために必要な資質・能力の育成に取り組みました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)情報活用能力の育成</p> <p>一人一台端末の活用の充実に向けて取り組みます。また、実社会において情報がどのように活用されているかの理解を深めるため、ICTを活用したスマート農業等、地元企業と連携しICTの活用に関する教育をすすめます。</p>
	<p>(2)情報モラルの育成</p> <p>インターネットの利用に伴う危険性やフィルタリング機能の活用等について啓発に取り組みむとともに、関係機関や事業者、家庭と連携して、情報モラルの育成に努めます。また、関係機関と連携し、SNSの正しい利用やインターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組みます。</p>
	<p>(3)プログラミング教育の推進</p> <p>一人一台端末を活用したプログラミング教育を行う単位について、各学校が教育課程へ位置付け、モデル授業や校内実技研修を開催します。</p>

個別施策	1-4 国際理解教育の推進
めざす姿	子どもたちが世界の多様な文化に関心を持ち、外国の人と交流しようとする姿勢を身に付けています。
施策担当課	学校教育指導課

成果指標の状況							
指標名	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う子どもの割合 (%)						
区分	基準値 【H29~R1平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	66.3	—	—				75.0以上
中学	64.4	—	—				75.0以上

<成果指標の達成状況>
 ※全国学力・学習状況調査(文部科学省)における調査項目がなかったため、R3実績値はありません。


令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆外国語指導講師(ALT)による授業</p> <p>小学校外国語活動及び外国語科、中学校外国語科の指導の充実をはかり、「読む・書く・聞く・話す」技能をバランスよく身に付けるために、外国語指導講師を全小中学校へ派遣し、各学年段階のつながりを意識した系統的な指導を行いました。</p> <p>また、授業において外国語指導講師が自分の出身国の伝統や文化を紹介し、質問を受け付けるなど、多様な国の伝統・文化にふれる機会を提供しました。</p>	 <p>外国語指導講師による 小学校での授業の様子</p>

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)外国語を用いたコミュニケーション能力の育成</p> <p>小学校段階から外国語に親しみ、「読む・書く・聞く・話す」技能をバランスよく身に付けるため、各学年段階のつながりを意識した系統的な指導を行いました。また、発達の段階に応じた指導計画を作成し、外国語指導講師や国際交流員等を効果的に活用し、生きた英語に触れる機会を提供するなど、体験的なコミュニケーション活動に取り組みました。</p>
	<p>(2)多様な国の伝統・文化に関する理解の促進</p> <p>世界の中の日本人として自覚を持ち、世界の民族の多様な言語や文化の違いに気づくことのほか、それぞれの生活・習慣・価値観を理解し協調しながら他国を尊重する姿勢を育むために、外国語指導講師や市の国際交流員との交流等を通じて、多様な国の伝統・文化に触れる機会を提供しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)外国語を用いたコミュニケーション能力の育成</p> <p>児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力向上のため、小学校における外国語専科教員の配置や外国語指導講師を活用した授業に引き続き取り組むほか、今後も外国語指導講師の研修を行い、授業力の向上をはかります。また、外国語指導講師等との触れ合いを通して、外国語による児童生徒の実践的・日常的コミュニケーション能力の向上をはかります。</p>
	<p>(2)多様な国の伝統・文化に関する理解の促進</p> <p>子どもたちが多様な国の伝統・文化に関する理解を深めることができるよう、長期休業期間等を通じ、外国語指導講師による外国語のサポート学習に取り組みます。さらに、森の交流館・十勝等、地域の施設や人材を積極的に活用し、体験的な活動を重視した国際理解教育の実践をすすめます。</p>

個別施策	1-5 南商業高等学校における教育の推進
めざす姿	生徒たちが専門的な知識・技術を身に付け、地域で活躍する人材が育っています。
施策担当課	南商業高等学校

成果指標の状況							
指標名	地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合 (%)						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	26.7	15.7	16.6				50.0以上

<成果指標の達成状況>
R2と比較して0.9ポイント増加していますが、基準値を下回っています。感染症の影響により、学校行事等が中止になり、ボランティア活動の機会が減少したことによるものと考えられます。

令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆南商業高等学校における就職指導</p> <p>望ましい職業観や勤労観を育成するため、計画的・組織的・系統的に進路指導を行っています。</p> <p>1年生は、7月に職業・仕事しらべ、9月に発表会を実施したほか、進路指導教諭によるガイダンスを実施しました。2年生は、11月および1月に外部講師によるマナー指導を実施したほか、進路指導教諭による進路別のガイダンスを実施しました。3年生は、4月に進路説明会、6月に面接基本指導、9月に模擬面接指導を行い、就職試験の解禁に備えて準備しました。</p>	 <p>3年生の面接基本指導の様子</p>


点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)商業教育の充実</p> <p>商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習に取り組んだ結果、卒業までに全国商業実務検定の1級を3種目以上取得した生徒の割合が全道で最多の85.0%となりました。なお、感染症の流行のため姉妹都市マディソン市への留学生派遣は中止となりました。</p>
	<p>(2)地域経済に貢献する人材の育成</p> <p>マナー講習会の開催、進路指導部による企業訪問、各種の模擬試験の実施等に取り組んだ結果、前年に引き続き就職・進学ともに内定率100%を達成しました。なお、感染症の流行のためインターンシップは中止となりました。</p>
	<p>(3)地域社会との連携・協働による教育の推進</p> <p>学校評価を活用し、学校の運営状況や教育活動について改善をはかる取り組みをすすめました。また、学校・家庭・地域が協働しながら子どもの健全な育成を目指す「コミュニティ・スクール」を設置しました。</p>
	<p>(4)地域とつながる活動の推進</p> <p>感染症の流行のため、地域住民に学習機会を提供する学校開放講座は中止となりました。また、部活動の実施制限や学校行事等を軒並み中止にしたことなどに伴い、生徒のボランティア活動の機会も減少しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)商業教育の充実</p> <p>商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて、実践力を高める指導に取り組むとともに、多様な進路に対応した教育課程を編成します。また、国際理解教育については、マディソン市派遣研修実行委員会等と連携し、感染症の状況に応じて安全に交流できる時期を見定めます。</p>
	<p>(2)地域経済に貢献する人材の育成</p> <p>外部講師による講習会の開催のほか、進路指導や各種検定試験合格に向けた学習支援等により即戦力となる人材育成の充実に取り組みます。また、インターンシップについては、感染症の状況を踏まえながら、生徒の安全に配慮し取り組みます。</p>
	<p>(3)地域社会との連携・協働による教育の推進</p> <p>コミュニティ・スクールから学校運営に対する意見をいただくほか学校評価を活用するなどして、学校の運営状況や教育活動について今後も改善をはかります。</p>
	<p>(4)地域とつながる活動の推進</p> <p>学校開放講座については、学校施設や人材の活用により地域住民に学習機会を提供できるよう、実施手法や内容を見直します。</p> <p>生徒のボランティア活動については、感染症の状況を踏まえながら安全にボランティア活動に参加できる時期を見定めつつ、主催者等と連携をはかります。</p>

基本施策2 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

個別施策	2-6 学びを生かす力の育成
めざす姿	子どもたちが意欲的に学び、課題の解決に粘り強く取り組んでいます。
施策担当課	学校教育指導課、教育研究所、図書館、児童会館

成果指標の状況							
指標名	授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合 (%)						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H30~R1平均】	R2	R3	R4	R5	R6	(R11)
小学	75.8	71.7	74.8				85.0以上
中学	79.8	75.7	85.2				85.0以上

<成果指標の達成状況>
R2と比較して小学校では3.1ポイント増加しており、目標値に向けて進捗しています。中学校ではR2と比較して9.5ポイント増加し、目標値を達成しました。各種学力調査の分析や帯広市教育委員会作成の教材活用が進んだことによるものと考えられます。

令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆一人一台端末を活用した授業の推進</p> <p>子どもたちが、意欲的に学び、課題の解決に自ら考え取り組めるよう、課題提示や考えの共有、振り返りの場面において、一人一台端末を活用した授業を実践し、個別最適な学びや協働的な学びをすすめました。</p>	 <p>授業中において、一人一台端末を活用している児童の様子</p>

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	(1)学校における授業の工夫・改善 一人一台端末を活用した授業の推進により、個別最適な学びや協動的な学びをすすめました。
	(2)学習活動の支援 教育研究所ホームページにおいて、常時ダウンロード可能な小中学生向け教材を掲載したほか、朝の読書や調べ学習等における「ぶっくーる便」の活用、放課後の学習会開催等の学びの機会を提供しました。また、学級閉鎖や臨時休業により、登校ができない児童生徒の学びを保障するためオンライン学習等を実施しました。
	(3)教育課程の工夫・改善 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成及び実施を支援するため、「教育課程編成の手引き」を作成したほか、教職員や子どもたちの負担を軽減し、これからの教育へのニーズに対応できるよう、学校行事のあり方について見直しを行いました。
	(4)学力の分析・検証 CRT 学力検査の分析結果をまとめた「帯広の子どもの学力」を全小中学校に配付することで、各学校で自校の学力分析・検証を行い、児童生徒の実態を把握して授業改善につなげ、学力の向上に寄与しました。
	(5)体験的・問題解決的学習の推進 学校での授業のほか、児童会館での科学実験・工作、図書館での講習会の開催等、科学や自然に対する興味・関心を高め、科学的なものの見方や考え方を養う体験学習をすすめるとともに、関係機関と連携しオンラインを活用した施設見学を行いました。
課題及び今後の方向性	(1)学校における授業の工夫・改善 個別最適な学びと協動的な学びの一体的な充実に向けて、一人一台端末を活用した授業を通じ、「子ども」が主語となる授業実践をすすめます。
	(2)学習活動の支援 一人一台端末で活用できる教材作りに取り組むほか、「ぶっくーる便」については、計画的な入替により子どもたちにとって魅力的な図書を提供します。また、感染症の流行による学級閉鎖や臨時休業に備え、今後もオンラインを活用した学びの保障の充実について検討します。
	(3)教育課程の工夫・改善 目標の実現に必要な教育の内容等を横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントの充実を図るとともに、学習指導要領の趣旨を踏まえた「教育課程編成の手引き」を作成します。
	(4)学力の分析・検証 子どもたちの学力分析・検証の精度を更に高めるために、より検査母数の多い学力調査を採用し、分析や検証方法を刷新し、学校に還元します。
	(5)体験的・問題解決的学習の推進 図書館や児童会館では、学校のニーズを踏まえながら各種の学習機会を提供します。また、オンラインの活用等による実施方法の検討をすすめます。

個別施策	2-7 豊かな人間性と創造性の育成
めざす姿	子どもたちが互いの価値観を尊重し、多様な人と協力し取り組んでいます。
施策担当課	学校教育課、学校教育指導課、生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う子どもの割合 (%)						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H27~R1平均】	R2	R3	R4	R5	R6	(R11)
小学	69.7	70.7	76.6				85.0以上
中学	71.1	79.5	78.7				85.0以上


<成果指標の達成状況>
R2と比較して小学校では5.9ポイント増加し、中学校では0.8ポイント減少しましたが、小中学校ともに基準値を上回っており、目標値に向けて進捗しています。各学校において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取り組みが進んだことによるものと考えられます。

令和3年度の主な取り組みの内容

◆学校図書 of 整備と読書機会の充実

子どもたちの読書活動への興味関心が高まるよう、学校図書の充実や、図書ボランティアによる読み聞かせ活動を行ったことに加え、学校図書館の使いやすさ向上のため、書架の配備などを行いました。

また、授業や朝読書、放課後などにおいて電子図書館の活用を促進するなど、多様な読書機会の充実をはかりました。

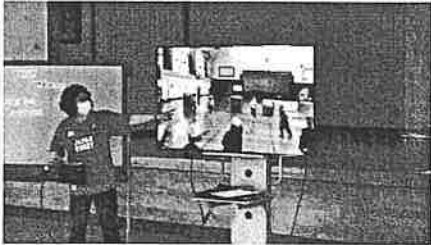


学校図書室整理の様子

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	(1)道徳教育の充実 公開研究会等を活用した校内外における教職員向け研修の充実をはかり、道徳科の授業改善をすすめました。また、他教科との関連や評価の充実等による道徳科を要とした教育活動を展開し、子どもたちの道徳性を育む取り組みをすすめました。
	(2)読書活動の推進 図書ボランティアによる読み聞かせ等のほか、学校図書館の図書整備や朝読書を通じた子どもたちの読書活動への興味関心の向上に取り組みました。また、多様な読書機会を確保するため、電子書籍の活用をはかったほか、おはなし会の開催や、オススメ絵本リストの作成等、学校と図書館が連携した取り組みを行いました。
	(3)文化芸術活動の推進 子どもたちの感性や創造力を育むため、音楽・図画工作・美術・技術・家庭科の授業等において多様な文化芸術の体験的な学習活動を推進しました。また、各学校においてICTを活用し、学習発表会や文化祭を教室で観覧するなど、感染症対策を講じながら子どもたちの情操教育に取り組みました。
	(4)体験活動の推進 「おびひろ市民学」において、ICTを活用し工場見学をオンラインで実施するなど、空間的・時間的な工夫を通じて、子どもたちへ体験活動機会の提供に取り組みました。また、各種社会教育施設と連携し飼育体験や科学体験、防災体験や文化芸術体験等、地域の特色を生かした体験活動を推進し、「児童生徒が触れて学ぶ」機会を提供しました。
課題及び今後の方向性	(1)道徳教育の充実 校内外における教職員向け研修の充実をはかり、道徳科の授業改善をすすめるほか、地域人材やゲストティーチャーの活用、他教科との関連や評価の充実等による道徳科を要とした教育活動を展開し、引き続き子どもたちの道徳性を育みます。
	(2)読書活動の推進 図書ボランティアや司書教諭及び関係部署との連携をはかるほか、電子書籍の利用を通して読書活動の活性化に取り組みます。また、将来の担い手として、「語り手育成講習会」等により新規ボランティアを養成します。
	(3)文化芸術活動の推進 ICTを活用した演劇鑑賞等の良質な文化芸術に触れる機会の提供を通じて子どもたちの文化芸術活動の推進に取り組みます。また、各学校の学習発表会や文化祭の様子の発信等の取り組みを通じ、感染症対策を講じながら子どもたちの情操教育をすすめます。
	(4)体験活動の推進 各種社会教育施設と連携し、魅力ある体験活動を今後も提供するとともに、感染症対策を踏まえながら、内容の見直しについて検討します。

個別施策	2-8 健やかな体の育成
めざす姿	子どもたちが運動に親しみ、心身ともに健康的な生活を送っています。
施策担当課	企画総務課、学校教育課、学校給食センター、学校教育指導課、図書館、スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	朝食を毎日食べている子どもの割合 (%)						
区分	基準値 【H27~R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	94.0	91.0	92.1				100.0
中学	93.6	94.0	92.9				100.0
<p><成果指標の達成状況></p> <p>R2と比較して小学校では1.1ポイント増加していますが、中学校では1.1ポイント減少しており、小中学校で基準値を下回っています。食に関する啓発資料等の配布や、食育指導専門員等を各学校へ派遣し、給食指導の支援や食に関する指導が進んでいるものの、望ましい食生活習慣に係る家庭との連携が十分ではないことによるものと考えられます。</p>							
指標名	1週間当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合 (%)						
区分	基準値 【H26~H30 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	88.5	—	86.1				95.0以上
中学	85.9	—	85.9				90.0以上
<p><成果指標の達成状況></p> <p>小学校では基準値を下回り、中学校では基準値と同数値となっており、目標値に向けて進歩していません。調査結果をもとにした授業改善への取組が進んでいるものの、生活習慣改善に向けた家庭や地域との連携が十分ではないことによるものと考えられます。</p>							


令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆帯広市体力向上推進プロジェクトチームによる出前授業</p> <p>全国体力・運動能力、運動習慣等の調査、分析に基づき、日々の授業を通して体力を効果的に向上させるための授業改善の方法等について学ぶため、帯広市体力向上推進プロジェクトチームによる出前授業や研修会を実施しました。</p>	 <p>出前授業の様子</p>

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	(1)体力・運動能力の向上 各学校において、過去の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を検証し、授業への反映や生活習慣の見直しに取り組みました。
	(2)安全・安心な学校給食の提供 地元の農業関係者等と連携し、安全・安心な地場産食材を取り入れた給食の提供を行ったほか、アレルギーを持つ児童生徒が安心して給食時間を過ごせるよう、「学校給食食物アレルギー対応マニュアル」に基づく取り組みを行いました。
	(3)正しい「食」への理解の推進 「おひひろ市民学」における「帯広らしい食育プログラム」のもと、栄養教諭や食育指導専門員を各学校へ派遣し、給食指導の支援や食に関する指導を行ったほか、小中学校への「食育通信」の配付等を通じて、食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣の啓発をはかりました。また、図書館常設の食文化コーナーにて月毎にテーマと図書を入れ替え、食に関する様々な図書を展示しました。
	(4)健康教育・健康保持 子どもたちの健康保持増進のため、各学校において関係団体と連携し学校保健委員会の設置をすすめたほか、学校の教育活動全体を通じてがん教育や体育・健康に関する指導を行いました。また、感染症対策を徹底しながら子どもたちの学びの保障を確保するため、衛生用品の購入等による学校環境の整備を行いました。
課題及び今後の方向性	(1)体力・運動能力の向上 体力向上推進プロジェクトチームによる研修会の開催及び各学校への派遣指導を通じて授業改善をはかるとともに、子どもたちの体力・運動能力の分析・検証をすすめます。
	(2)安全・安心な学校給食の提供 地場産食材の導入をすすめるほか、適切な栄養バランスを考慮した学校給食の提供により児童生徒の健全な心身の発達をはかります。また、食物アレルギーを持つ児童生徒が増加傾向にあることから、アレルギーに関する正確な情報及び除去食の提供を行い、学校給食における事故防止に取り組みます。
	(3)正しい「食」への理解の推進 子どもたちが栄養や食事の摂り方等について、正しい知識に基づいて自ら判断し健全な食生活を実践できる資質・能力を育むため、「食育通信」等の資料の配付や、帯広市食育推進部会による児童生徒と家族が一緒に朝食作りに取り組むイベントを実施します。また、図書館では食育月間に合わせて、食をテーマにした映画会・おはなし会の開催を通じて、食への理解を促進します。
	(4)健康教育・健康保持 子どもたちが性に関する正しい知識を身に付け、心身の発達に関して理解を深め、自分や他者の価値を尊重し相手を思いやる心を醸成できるよう、発達の段階に応じた教育をすすめます。また、各学校において、感染症対策の取り組みを継続し、学びの機会の確保をはかります。

個別施策	2-9 教員の資質・能力の向上
めざす姿	教員が子どもたちと向き合い、子どもたちの力を引き出す指導が行われています。
施策担当課	学校教育課、学校教育指導課、教育研究所、スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	授業の内容がよくわかると思う子どもの割合 (%)						
区分	基準値 【H27~R1平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	82.6	83.1	84.8				90.0以上
中学	74.8	71.2	79.4				80.0以上

<成果指標の達成状況>
R2と比較して小学校では1.7ポイント、中学校では8.2ポイント増加し、目標値に向けて進捗しています。指導主事による学校教育指導訪問、学校管理職や教職員の指導力や資質能力の更なる育成・向上を目指した研修等が行われ、教職員の授業改善が進んだことによるものと考えられます。

令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆おびGIGA支援員派遣事業</p> <p>一人一台端末の整備におけるICTの効果的な活用を一層促進し、教職員の指導力向上や情報教育の充実をはかる必要があることを踏まえ、令和3年度より「おびGIGA支援員」を各学校へ派遣し、巡回支援を行っています。</p> <p>令和3年度については、市内全小中学校へ支援員を派遣し、研修を実施しました。</p>	 <p>オンラインでの研修風景。学校の二階に合わせ研修を進める様子</p>



点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)教員の指導力の向上</p> <p>指導主事による学校教育指導訪問において、管理職や教職員に指導・助言を行ったほか、夏・冬季休業中における学力向上推進プロジェクトチームによる学級経営・授業改善ワンポイント講座を実施しました。また、ICTの効果的な活用を一層促進するため、Google 本社から講師を招いた研修の実施や、「おびGIGA 支援員」を各学校に派遣し、巡回支援を行いました。</p>
	<p>(2)教職員の働き方改革の推進</p> <p>教職員の勤務状況の改善等に向けて、令和3年5月に「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第2期）」を作成し、各学校と連携した取り組みを実施した結果、教職員の時間外在校等時間は減少傾向にあります。また、教職員向けの研修については、負担軽減や感染症対策を踏まえ、オンラインの活用等により開催しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)教員の指導力の向上</p> <p>学力向上推進プロジェクトチームによる学級経営・授業改善ワンポイント講座の実施を通じて、教員の資質能力や豊かな人間性と社会性の向上に努めます。また、教職員向けの研修については、受講率の向上をはかるため、一人一台端末の活用や今日的な課題を取り上げる等、教職員の技能や指導力向上に繋がる講座の企画に取り組みます。</p>
	<p>(2)教職員の働き方改革の推進</p> <p>「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第2期）」に基づく取り組みを推進するほか、教職員の業務効率化のため、令和4年度における校務支援システムの導入をすすめます。また、教職員向けの研修については、感染症の状況を踏まえながら、オンラインの活用や対面方式での実施等、教職員の負担軽減に向けた体制づくりをすすめます。</p>

基本施策3 地域とともに育む教育の推進

個別施策	3-10 地域との連携・協働の推進
めざす姿	地域の人たちが子どもたちの教育に積極的に関わり、健やかな成長を支えています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課、生涯学習文化課

成果指標の状況							
指標名	地域の行事に参加している子どもの割合 (%)						
区分	基準値	実績値					目標値 (R11)
	【H27~R1平均】	R2	R3	R4	R5	R6	
小学	58.2	50.4	47.8				70.0以上
中学	35.2	34.3	35.1				50.0以上

<成果指標の達成状況>
R2と比較して小学校では26ポイント減少し、中学校では0.8ポイント増加していますが、小中学校で基準値を下回っています。感染症の影響による地域の行事の中止等によるものと考えられます。

令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆コミュニティ・スクール導入校の拡充</p> <p>コミュニティ・スクールでは、保護者や地域の代表者で構成する学校運営協議会を設置し、校長が作成する学校運営の基本的な方針を承認するほか、地域でどのような子どもを育てていくのかを協議し、目標を共有した上で、学校・家庭・地域が協働しながら子どもの健全な育成を目指しています。</p> <p>帯広市では、令和元年度より導入を開始しており、令和3年度は新たに17校で導入し、コミュニティ・スクール導入校を拡充しました。</p>	 <p>学校運営方針説明の様子</p>
<p>◆子どもの見守り活動の実施</p> <p>市内全小中学校では、通学路などで子どもたちが犯罪や事故に遭わないよう、PTA やボランティアが中心となり、感染症対策を踏まえながら、活動内容について検討し、登下校時の見守り活動を実施しています。</p> <p>また、地域安全マップの作成やパトロールなどによる不審者対策を行い、子どもたちの安全確保に取り組んでいます。</p>	 <p>子どもの見守り活動の様子</p>

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)地域における支援体制の充実</p> <p>コミュニティ・スクールを新たに17校で導入したほか、リーフレットの作成・配布やコミュニティ・スクール通信の発行、指導主事の学校教育指導訪問時にコミュニティ・スクール導入による好事例の紹介等を行いました。また、学校・家庭・地域が一体となった活動の促進や人材育成のため、「帯広市学校・家庭・地域協働会議」における意見交換や地域コーディネーター向けの研修会を実施したほか、「こども学校応援地域基金」を活用して団体同士の連携した活動への支援を行いました。</p>
	<p>(2)子どもの安全対策の充実</p> <p>登下校時の子どもの見守り活動を全小中学校で実施したほか、災害情報や不審者情報だけでなく感染症に関わる情報提供を行うため、「帯広市子供安全ネットワーク」を活用した保護者への速やかな情報発信に取り組みました。また、庁内外の関係機関と連携して通学路危険箇所の点検を行い、点検結果を公表し安全対策について関係機関へ依頼したほか、登下校時にその身に危険が迫った場合等に逃げ込む「子ども110番の家」を1,009箇所を設置しました。</p>
	<p>(3)地域主体の体験活動への支援</p> <p>子どもの居場所づくり事業においては、感染症対策を行いながら、異世代交流や多様な体験活動を通して、豊かな人間性や社会性の涵養に取り組みました。青少年育成団体の活動においては、実施可能な事業について工夫して取り組み、子どもたちに体験活動機会を提供しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)地域における支援体制の充実</p> <p>学校・家庭・地域の連携・協働による「地域とともにある学校づくり」をすすめるため、令和4年度中に全校でコミュニティ・スクールを導入するほか、指導主事による学校教育指導訪問時に、取り組み状況に応じた全国の好事例の情報提供に努めます。また、感染症対策を講じたうえで、学校と地域との連携した活動や地域コーディネーターの研修等に取り組むほか、こども学校応援地域基金を活用した支援を周知し、ボランティア団体間の連携した活動の拡大をはかります。</p>
	<p>(2)子どもの安全対策の充実</p> <p>活動団体の担い手確保を継続し、地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、保護者がいち早く災害情報や不審者情報を得られるよう、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知をすすめます。また、通学路の安全確保については、今後も担当部署や関係機関と情報の共有をはかりながら、必要に応じて危険箇所の合同点検を実施し対策を検討するほか、登録者の確保により「子ども110番の家」設置箇所の拡充をはかります。</p>
	<p>(3)地域主体の体験活動への支援</p> <p>子どもの居場所づくり事業は、事業を担うボランティア登録者数や実施回数及び参加児童数が感染症流行以前より減少しているため、実施方法やPR活動を工夫し事業を継続します。また、青少年育成団体の各事業においては、感染症対策を講じながら事業の実施に向けた内容の見直しをすすめます。</p>

個別施策	3-11 家庭教育への支援
めざす姿	各家庭において、子どもたちが規則正しい生活習慣や社会的なマナーを身につける教育が行われています。
施策担当課	学校給食センター、学校教育指導課、生涯学習文化課、図書館

成果指標の状況							
指標名	家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合 (%)						
区分	基準値 【H27~R1平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	77.8	73.2	—				85.0以上
中学	76.6	77.8	—				85.0以上


<成果指標の達成状況>
 ※全国学力・学習状況調査(文部科学省)における調査項目がなかったため、R3実績値はありません。

令和3年度の主な取り組みの内容

◆「食育通信」の配布

児童生徒の家庭における望ましい食習慣や、食に関する正しい知識の習得をはかるため、食育通信を配付しました。

学校行事に関連した食に関する情報等提供のほか、給食メニューのレシピ紹介、季節ごとの行事(七夕、十五夜、節分など)と食の関係、「ふるさと給食」に使用する地場産物や生産者の紹介などを行いました。また、早寝早起きや朝ごはんを食べることの大切さ、家庭でできる食中毒予防や風邪に負けない体づくりなど様々な啓発を行いました。




食育通信

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)教育相談の充実</p> <p>家庭訪問相談員及び心の教育相談員を配置し、子どもたちの進路や学業不振、友人関係のほか、いじめや不登校等の子どもの教育に関する悩みについての相談に対応しました。</p>
	<p>(2)家庭教育力向上のための支援</p> <p>学校においては、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて、起床や食事の摂取状況を家庭において記録するためのシートを配付し、家庭への助言を行いました。また、家庭に向けては「食育通信」の配付等を通じて、児童生徒の家庭における食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣の啓発をはかりました。そのほか、妊娠期からのおはなし会への参加の呼びかけや、乳幼児健診におけるブックリストの配付により、保護者への啓発活動をすすめたほか、家庭における日常的な読書習慣の確立を目的に「家読」に取り組みました。</p>
	<p>(3)PTA との連携の促進</p> <p>学校と家庭が連携して子どもたちの健やかな成長を育むため、学校とPTA 間において情報交換を行いました。また、帯広市PTA 連合会への補助金の支出やPTA による各種事業の後援等、PTA 活動への支援を行いました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)教育相談の充実</p> <p>教育相談員体制のさらなる充実と、より有効な教育相談員の活用をはかるため、配置日数の調整等の工夫をすすめるとともに、相談員会議等を通して研修を深め、相談業務の充実をはかります。</p>
	<p>(2)家庭教育力向上のための支援</p> <p>学校においては、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて、「おびひろ市民学」を中核として消費者教育・人権教育等様々な視点から啓発をすすめます。また、家庭に向けて、図書館における絵本セットの内容の充実に努め、子育て世帯への支援をすすめます。そのほか、ライフスタイルの変化による児童生徒の食生活の乱れを改善するため、「食育通信」の配付等を通じて食育をすすめます。</p>
	<p>(3)PTA との連携の促進</p> <p>家庭における教育力を高めるため、各校のPTA や帯広市PTA 連合会等との情報交換をすすめるほか、関係団体への行政支援を継続し連携強化に取り組みます。</p>

個別施策	3-12 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進
めざす姿	学校間の連携により、子どもの個性を理解し尊重した指導が継続的に行われています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課

成果指標の状況							
指標名	小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合 (%)						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	192	192	192				100.0
中学	21.4	21.4	14.3				100.0

<成果指標の達成状況>
R2と比較して小学校では同数値、中学校では7.1ポイント減少しており目標値に向けて進捗していません。学びのつながりを意識した教育課程の編成をすすめたものの、感染症の影響により乗り入れ授業等が十分にできなかったことによるものと考えられます。

令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆帯広市エリア・ファミリー構想の推進</p> <p>帯広市では、中学校区を1つのエリアとし、幼保小中間の相互理解をはかる「帯広市エリア・ファミリー構想」を推進しています。</p> <p>令和3年度については、4月に帯広市学校・家庭・地域協働会議を開催したほか、各エリアにおいて、ノーテレビデーの実施や、中学校区の児童生徒一人ひとりの成長に関わって小中学校が交流を深め、一貫性と連続性のある教育の充実がはかられるよう、中学校区交流会を開催しました。</p>	 <p>中学校区交流会の様子</p>



点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	(1)学校間の連携の推進 「帯広市エリア・ファミリー構想」に基づき、幼稚園・保育所・認定こども園、小学校、中学校において、それぞれ行われている教育への理解を深めるため、職員間交流を通じた情報共有を行ったほか、学びのつながりを意識した教育課程の編成をすすめました。また、「帯広市小中一貫教育推進基本方針」に基づき、義務教育9年間を見通した教育課程を編成し、小中学校の接続を意識した学習指導をすすめました。
	(2)通学区域の見直しの実施 通学区域が宅地の造成等に合わせた適正な設定とされているか確認を行ったほか、「帯広市小中学校適正規模の確保等に関する計画」に基づく取り組みと併せて、通学区域の整理及び検討を行いました。また、令和4年4月1日開校の帯広市立大空学園義務教育学校において、前期課程及び後期課程が同一敷地内に設置されることから、大空小学校並びに大空中学校区域を基に、通学区域の見直しを行いました。
課題及び今後の方向性	(1)学校間の連携の推進 小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び編成をすすめます。また、幼保・小・中における教育実践への相互理解を深められるよう、各エリア内における授業交流や乗り入れ授業を行うとともに、小中教員による部会を設定し、教育実践の交流や教育課題の共有をはかる等、より詳細な情報共有や学校種間の連携強化をすすめます。
	(2)通学区域の見直しの実施 小中学校の連携や地域ぐるみの教育を一層推進するため、学校の適正規模の確保に関する取り組みと合わせ、通学距離、幹線道路、河川等の地理的条件や地域コミュニティとの整合性、一つの小学校から複数の中学校に分かれる分散進学の解消等に配慮し、通学区域の見直しをすすめます。

基本施策4 安全・安心な教育環境の整備

個別施策	4-13 誰もが安心して学べる教育の推進
めざす姿	障害の有無や家庭の経済状況等に関わらず、誰もが安心して学んでいます。
施策担当課	企画総務課、学校地域連携課、学校教育課、学校教育指導課、教育研究所

成果指標の状況							
指標名	「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合 (%)						
区分	基準値	実績値					目標値 (R11)
	【H27~R1 平均】	R2	R3	R4	R5	R6	
小学	96.2	97.5	96.4				100.0
中学	94.2	96.8	96.2				100.0

<成果指標の達成状況>
R2と比較して小学校では1.1ポイント、中学校では0.6ポイント減少していますが、基準値を上回っています。特別の教科道徳を要とした各校における道徳教育の充実や、いじめ・不登校・非行等に関する対策委員会等による啓発活動によるものと考えられます。



令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆いじめや人権について考え、議論する取り組み</p> <p>子どもたちがいじめを自分自身の問題として、より深く考えることができるよう、道徳科を中心として、いじめや人権について皆で考え議論する場を設け意識向上に取り組みました。</p> <p>また、いじめ・不登校・非行等に関する対策委員会等による活動を通じて、教職員の資質向上や、子どもたちがいじめを自分自身の問題として考えることができるよう研修や啓発活動を実施しました。</p>	 <p>対策委員会によるいじめに関する研修会の実施</p>
<p>◆特別支援教育の充実</p> <p>児童生徒の成長に合った適切な就学をはかるため、特別支援教育の専門家で構成された帯広市教育支援委員会において、就学先を決定するための教育相談を、令和3年度は462件実施しました。</p> <p>また、介助が必要な児童生徒のために31人の生活介助員を配置するとともに、発達障害などの理由により、学校生活に困り感を抱える児童生徒を支援するため、特別支援教育補助員を令和2年度から7人増員し、68人配置しました。</p>	 <p>特別支援学級の授業の様子</p>

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	(1)いじめ・非行の防止 道徳科の学習を要として、子どもたちがいじめや人権について皆で考え、議論する場を設け、意識向上に取り組んだほか、いじめ・不登校・非行等に関する対策委員会等による啓発活動を行いました。また、地域の指導協力員と街頭巡回指導等を通じた非行防止活動を実施しました。
	(2)不登校への対応 不登校傾向の子どもに対して、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、家庭訪問相談員等と連携し、子どもや保護者からの相談対応や助言等を行いました。また、子どもの自立や学校生活への復帰を支援するため、適応指導教室の運営、教育相談、個別学習や一人一台端末を活用したオンライン授業等に取り組みました。
	(3)教育機会の確保 経済的な理由により児童生徒の就学が困難な保護者へ就学援助費を支給したほか、奨学金の貸与を通じ、大学等への修学を支援しました。また、農村地域で遠距離通学となる児童生徒への支援としてスクールバスを運行しました。そのほか、市内高等学校の間口確保のため、「公立高等学校配置計画地域別検討協議会」に出席し、情報収集を行いました。
	(4)一人ひとりに応じた教育の充実 個別の指導計画及び教育支援計画の作成、関係機関・保護者との情報共有や特別支援教育に係る教員の知識・技能の習得をすすめたほか、特別支援学級の設置やアイヌ子弟の遠隔地での就学支援のための扶助費支給等により、支援や配慮が必要な子どもたちの学びの環境整備に取り組みました。また、豊かな自然環境の中で特色ある教育活動を行う農村地域の小規模校に就学できる特認校制度の運用をすすめました。
課題及び今後の方向性	(1)いじめ・非行の防止 いじめの未然防止や就学に対する支援等、誰もが安心して学ぶことができる環境の整備をすすめるほか、街頭巡回指導等や非行防止活動に取り組みます。
	(2)不登校への対応 家庭や児童生徒の悩みの複雑化、原因の多様化がみられるため、教育相談員の専門性の向上をはかる研修の実施や相談体制の充実、関係機関との連携強化をすすめます。
	(3)教育機会の確保 他地域の事例を参考にしながら就学や通学に関わる経済的な支援を行います。また、スクールバスの安定的な運用のため、車両更新や運転手の確保について検討するほか、市内高校の間口を維持・確保するため、各種会議等の機会を通して、情報収集や要望活動を行います。
	(4)一人ひとりに応じた教育の充実 障害や学習において困り感を抱えた子どもたちが、一人ひとりの特性や状況にあった環境で教育を受けられるよう、教育相談体制の確保と関係機関との連携強化をはかるとともに、特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備をすすめます。また、教職員向けの研修により、今日的な課題であるLGBT等やHSC (Highly Sensitive Child)、ヤングケアラー等の理解促進の取り組みをすすめます。

個別施策	4-14 安全で充実した教育環境の整備
めざす姿	安全で機能的な学校施設の整備など、良好な教育環境のもとで、子どもたちが充実した学校生活を送っています。
施策担当課	企画総務課、学校地域連携課、学校教育課、南商業高等学校

成果指標の状況							
指標名	長寿命化改修の実施校数(校)						
区分	基準値 【H30】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	0	0	1				9

<成果指標の達成状況>
R2と比較して1校増加し、目標値に向けて進捗しています。R3の実績値は、2か年に渡り工事を進めてきた大空学園義務教育学校長寿命化改修によるものです。

令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆児童用机・椅子の更新</p> <p>全小中学校において、平成27年度より「軽くて運びやすく」「傷付きにくい」スチール製の机・椅子への計画的な更新を実施しています。</p> <p>令和3年度は小学校3・4年生21校分の更新を行い、スチール製の机・椅子2,510セットを整備しました。</p>	 <p>スチール製机椅子</p>
<p>◆大空学園義務教育学校の整備</p> <p>大空小・中学校を統合した施設一体型義務教育学校の整備を令和2年度から令和3年度にかけて実施し、既存校舎の長寿命化及び増築工事を行いました。</p> <p>増築棟には、アクティブラーニングスペースや第二体育館などが設けられ、子どもたちが充実した学校生活を送ることができるよう、良好な教育環境が整備されました。</p>	 <p>大空学園義務教育学校完成の様子</p>

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)学校施設の整備</p> <p>小中学校においては、大空学園義務教育学校一期工事の着手、煙突用断熱材除去(小学校2校)、ボイラー改修(小学校2校、中学校1校)、トイレ大規模改修(小学校1校)、トイレ洋式化(小中計118基)、特別教室等網戸整備(小中計1,164枚)のほか、個別改修を行いました。また、南商業高等学校においては、トイレ洋式化、屋内運動場バスケットゴール修繕(1基)、特別教室(9基)と屋内体育館(2基)に無線LANを整備、特別教室等に網戸(38枚)を設置しました。</p>
	<p>(2)学習環境の整備</p> <p>小中学校に配置した児童生徒の一人一台端末などの円滑な維持管理のため、学校ICTヘルプデスクを設置したほか、小学校3・4年生21校分の机・椅子の更新を行いました。また、南商業高等学校においては、経済事情等によりコンピュータ端末やルーターの用意が困難な家庭の生徒に貸与するためのタブレット端末(50台)を整備しました。</p>
	<p>(3)学校適正規模確保の推進</p> <p>学校・保護者・地域・教育委員会で構成される大空地区義務教育学校準備協議会を開催し、新校の開校に向けて校歌、校章等について協議を行いました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)学校施設の整備</p> <p>「帯広市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的かつ継続的な修繕を行い、学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善に努めます。</p>
	<p>(2)学習環境の整備</p> <p>小中学校においては、児童生徒が主体的に学び、自ら問題を発見し解決できる力の育成をはかるため、学校生活等における一人一台端末の活用範囲の拡大をすすめます。また、南商業高等学校においては、簿記、情報処理等の商業に関する専門教育の実施や高度な資格取得のため、第一情報処理室等の情報機器の整備・更新をすすめます。</p>
	<p>(3)学校適正規模確保の推進</p> <p>児童生徒数及び学級数を毎年度推計し、結果について市民へ情報提供します。また、小中学校適正規模の確保については、学校の小規模化による影響の緩和をはかる取り組みをすすめるほか、令和4年度の児童生徒数及び学級数の推計を基に「後期対象校」の選定を行います。</p>



(2) 基本目標 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり

基本施策5 自ら学びともに支える生涯学習の推進

個別施策	5-15 学習活動の促進
めざす姿	誰もが生涯にわたり、目的やライフステージに応じた学びを続けています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	講座の満足度 (%)						
区分	基準値 (R1)	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	95.5	96.9	93.5				100.0

<成果指標の達成状況>
R2と比較して3.4ポイント減少しており目標値に向けて進捗していません。感染症の影響により、事業の中止や開催規模が縮小したことで、市民の自主的な活動が減少していることによるものと考えられます。

令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆帯広市電子図書館の開設</p> <p>図書館では、令和3年度より電子図書館サービスを開始し、市民または市内に通勤・通学している人であれば、いつでも、どこでもスマートフォンやパソコンなどから電子書籍を借りて読書できるよう整備しました。</p> <p>また、電子書籍の利用促進をはかるため、市内全児童・生徒への一人一台端末の配布に併せてIDの提供を行いました。</p>	 <p>電子図書館で読書する様子</p>
<p>◆百年記念館での企画展の開催</p> <p>百年記念館では、十勝の歴史、自然、考古などをテーマに、感染症対策のため定員を設けたうえで博物館講座を開催しました。</p> <p>また、企画展「過ぎ去りし街角 荘田喜與志のみた帯広・十勝」を開催し、昭和20年代～平成初期までの十勝・帯広の生活風景を記録した荘田喜與志氏の写真から地域社会の変貌を紹介しました。緊急事態宣言に伴い会期が短くなったものの、延べ2,656人が来館しました。</p>	 <p>企画展の様子</p>

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)学習機会や情報の提供</p> <p>市民大学講座では、感染症対策を行いながら26講座開催し、延べ980人の参加がありました。また、生涯学習情報誌「まなびや」及び小学生向けの「まなびや特別号」の発行を行い、生涯学習活動やイベントの情報提供を行いました。</p> <p>図書館では、帯広市電子図書館の開設に伴い「はじめての電子書籍体験教室」や、小中学校の教員や保護者などを対象に「電子図書館使いこなし教室」を開催しました。</p> <p>百年記念館では、感染症対策のため定員を設けたうえで、博物館講座や郷土学習見学会を開催しました。</p> <p>動物園では、SNSを活用して積極的に情報発信を行ったほか、感染症による臨時閉園期間中には、オンラインでの講座等を実施しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)学習機会や情報の提供</p> <p>市民大学講座については、市民ニーズを踏まえた講座テーマの設定、オンライン配信や開催時間の工夫などにより、市民が参加しやすい学習機会を提供するほか、生涯学習情報誌「まなびや」により、情報提供に努めます。</p> <p>図書館においては、収集した資料や既存のデータベース、目録等を活かして、必要な情報を引き出しやすいよう電子化して公開するなどの仕組みづくりについて検討をすすめます。</p> <p>百年記念館においては、感染症対策を踏まえた事業のありかたを検討し、博物館ならではの講座の開催、展示の企画に取り組みます。</p> <p>動物園においては、講座の定員に対して応募者数が多いことやアンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実をはかります。</p>

個別施策	5-16 学習を通じたまちづくり
めざす姿	学習を通じて身に付けた知識や経験をまちづくりなどに生かしています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合 (%)						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	26.3	21.5	25.4				31.0以上

<成果指標の達成状況>
R2と比較して3.9ポイント増加していますが、基準値を下回っています。感染症の影響により、事業の中止や開催規模が縮小したことで、市民の自主的な活動が減少していることによるものと考えられます。



令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆コミュニティ講座の実施</p> <p>帯広市内 26 小学校地区ごとに設置された生涯学習推進委員会では、「地域から発想する生涯学習」を合言葉に、小学校や町内会などの各種団体と協力しながら地域の活性化や住みよいコミュニティづくりを目指し、生涯学習活動を自主的に推進することを目的に活動しています。</p> <p>令和3年度は、感染症の影響を受けるなか、新しい生活様式のもと年代を超えた人と人を紡ぐ生涯学習活動として、コミュニティ講座を101回開催し、延べ4,609人が参加しました。</p>	 <p>コミュニティ講座（バス学習）での施設見学時の様子</p>
<p>◆動物園におけるボランティアによる活動</p> <p>動物園では、毎年多くの市民・企業が開園前の園内清掃に参加しているほか、長年にわたり塗装工業組合による施設の塗装奉仕活動を行っています。</p> <p>また、帯広畜産大学のボランティアサークル「ZooFul」によるモルモットやヤギとのふれあいサポートが行われているほか、学生有志による提案企画により、来園者が楽しみながら動物について学ぶことができるイベントを実施するなど、ボランティア活動の場として定着しています。</p>	 <p>夏期開園前の清掃奉仕の様子</p>

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)自主的な学習活動の支援</p> <p>図書館では、読み聞かせの技術向上のための「語り手育成講習会」を開催し、帯広図書館友の会の活動支援を行いました。</p> <p>百年記念館では、資料整理をはじめとした、博物館での活動において得た知識や経験をもとに、ボランティアの自主性を促しながら音の博物館「レコードコンサート」やロビー展「マッチ箱展」等を企画・開催しました。</p> <p>動物園では、学生ボランティアとの連携をはかり、来園者と動物とのふれあいのサポート等、活動の場を提供しました。</p> <p>生涯学習推進委員会では、規模の見直しや感染症対策を行いながら「コミュニティ講座」を開催し、地域の生涯学習活動の関心や意欲の向上、地域住民間の交流機会の活性化に取り組みました。</p>
	<p>(2)地域の人材の育成・活用</p> <p>生涯学習指導者登録制度のもと、教養・文化・スポーツ等の様々な分野において個々の能力を発揮して活躍する人物を指導者として登録したほか、地域における生涯学習活動の支援のために情報を提供しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)自主的な学習活動の支援</p> <p>図書館においては、帯広図書館友の会の役員と情報交換をはかりながら、知識技術の向上や活動に対する相談やアドバイスを行い、相互連携をすすめます。</p> <p>百年記念館においては、ボランティアの知識向上のために研修会等、学習機会の確保に努め、学習で得た知識を活かした新たな活動の場を提供していくほか、ボランティア活動を行う人員の充実に向けて取り組みます。</p> <p>動物園においては、感染症などにより活動量が減っていますが、今後も学生等の活動主体が積極的に活動できるよう支援します。</p> <p>地域の生涯学習活動においては、感染症対策を行いながら生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で行う多様な活動の支援に取り組みます。</p>
	<p>(2)地域の人材の育成・活用</p> <p>生涯学習指導者登録制度の認知度を高め、利活用をはかるため、市ホームページやSNSを効果的に活用しながら情報発信の強化をはかり、登録者数の確保に取り組みます。</p>

個別施策	5-17 社会教育施設の整備・管理運営
めざす姿	社会教育施設が積極的に活用され、多様な学習活動が行われています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度 (%)						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	96.5	97.3	92.3				100

<成果指標の達成状況>
R2と比較して5ポイント減少しており、目標値に向けて進歩していません。主な要因として、感染症による影響の長期化をはじめ、トイレの洋式化や備品の更新など施設整備の充実を求める声があり、ポイントの減少につながっているものと考えられます。


令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆児童会館における遊具等の更新</p> <p>児童会館では、「子どもたちの体力づくりと豊かな想像力を育む」ことをコンセプトに、2階の屋内遊び場を改修し、壁・床それぞれを活用した遊びの空間「いろいろぱーく」を新設しました。小学生を対象としたボルダリングウォールや自由に組み立てて遊べる大型ブロック遊具の導入など、子どもたちの創造性を生かしながら、「からだ遊び」を楽しめる遊具を取り揃えました。</p> <p>また、従来からの「もっくんひろば」と「木の遊園地」にからだ遊び道具や知育遊具などを新たに設置しました。</p>	 <p>児童会館に新設した「いろいろぱーく」</p>
<p>◆動物園におけるアザラシ舎改修工事及び園路整備</p> <p>動物園では、魅力アップに向けた取り組みとして、使用していない旧アシカ舎プールの補修や再塗装を行い、新しくアザラシ舎としてリニューアルしました。</p> <p>また、来園者が安全・快適に過ごすことができるよう園路整備に着手し、令和3年度は二ホンザル舎から新サル舎までの324mの舗装更新工事を実施しました。</p>	 <p>旧アシカ舎を改修してリニューアルしたアザラシ舎の様子</p>

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)計画的な施設整備の実施</p> <p>とちプラザでは、アトリウム屋上防水補修工事、非常用蓄電池設備改修工事等を実施しました。</p> <p>図書館では、機械室の加湿器修繕や排煙窓の開閉に係る予備電源の取り換えを実施しました。</p> <p>百年記念館では、ガス強制気化装置取替修繕等を実施しました。</p> <p>児童会館では、2階屋内遊び場の改修や遊具の整備のほか、非常用自家発電設備更新工事実施設計委託、電話設備取替修繕等を実施しました。</p> <p>動物園では、「動物園の魅力アップ方針」に基づき、老朽化したアザラシ舎改修や園路整備に着手したほか、給水管の更新や高圧受電設備、遊具の修繕を実施しました。</p> <p>(2)適切な管理運営の推進</p> <p>とちプラザでは、少人数制での講座の開催やオンライン配信によるコンサートの開催を行う等、新たな手法による学習機会を提供しました。</p> <p>図書館では、感染症対策を行いながら図書資料の貸出・返却を実施し、読書機会を提供しました。</p> <p>児童会館では、プラネタリウム投影機の更新と改修を行ったほか、新たな遊具を設置しました。</p> <p>百年記念館では、利用場所毎に細かく人数制限を設けながら、学習機会の提供に取り組みました。</p> <p>動物園においては、オンライン配信による講座等を行い、学習機会の提供に取り組みました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)計画的な施設整備の実施</p> <p>多くの社会教育施設では、施設本体や設備、備品の老朽化がすすんでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。</p> <p>(2)適切な管理運営の推進</p> <p>とちプラザにおいては、指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組みます。</p> <p>図書館においては、施設管理のなかで類似的な業務について、集約して管理委託が可能性を検討します。</p> <p>児童会館においては、科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催していくほか、学びと遊びの機能の充実に取り組みます。</p> <p>百年記念館においては、利用者ニーズを念頭に置き、利便性の向上をはかるほか、効果性・効率性にも配慮した管理運営をすすめます。</p> <p>動物園においては、地域に根差した魅力ある動物園と感じられるよう、講座等の学習機会の提供やレクリエーション機能の充実に取り組みます。</p>

基本施策6 人が輝く文化芸術活動の推進

個別施策	6-18 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働
めざす姿	文化芸術活動を通じて、心の豊かさや生きがい、人とのつながりが生まれています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、百年記念館

成果指標の状況							
指標名	直近1年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合(%)						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	64.7	45.1	43.4				65.0以上
<p><成果指標の達成状況> R2と比較して1.7ポイント減少しており、目標値に向けて進捗していません。感染症の拡大に伴う施設休館や事業の中止のほか感染症対策による市民の外出自粛傾向の影響によるものと考えられます。</p>							

令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆第40回おびひろ市民芸術祭の開催</p> <p>帯広市内で文化活動をしている個人や団体が、練習や創作の成果を発表し、多くの人に気軽に鑑賞してもらうことを目的に、市民芸術祭を開催しました。</p> <p>音楽や舞踊、美術、書道、写真等、幅広いジャンルの文化団体や個人が日頃の活動の成果を発表しました。</p> <p>感染症の影響により、開催期間が2日短縮となったものの、51団体755人が参加し、9,714人が来場しました。</p>	 <p>第40回おびひろ市民芸術祭でのステージ演奏の様子</p>

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)市民文化芸術活動の促進</p> <p>市民主体の文化芸術活動を支援するため、日頃の活動成果を発表する「市民芸術祭」や地元出身・在住の新進若手演奏家による「新人演奏会」を開催したほか、積極的に創作活動に励む子どもたちが、将来「市民文藝」への応募に続くよう、とちぎジュニア文芸第12号を発刊しました。また、市民の文化芸術活動を支援するため、学校施設の開放事業を行いました。</p>
	<p>(2)文化活動団体の活動支援・指導者育成</p> <p>市民が芸術文化活動に参加しやすい環境やきっかけづくりのため、ホームページ等を活用し、文化団体の情報提供を行いました。また、文化活動を行う人材・団体の育成のため、文化賞、文化奨励賞、文化活動功労賞に、優秀な文化芸術活動を行う3個人・1団体を表彰したほか、文化活動への支援として事業補助・大会派遣補助を行いました。</p>
	<p>(3)文化芸術の鑑賞機会の提供</p> <p>感染症対策を行いながら、さまざまなジャンルの鑑賞事業を実施したほか、企業と協働したクラシックコンサートの開催など、市民に良質な文化芸術鑑賞機会を提供しました。また、北海道立帯広美術館の特別企画展「水木しげる 魂の漫画展」に参画し、市民が身近に芸術・文化に親しめる環境づくりに取り組みました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)市民文化芸術活動の促進</p> <p>感染症の影響により、市民の活動の成果を発表する機会が減少していることから、感染症対策を行いながら、安心して参加できる環境づくりに努め、市民に発表の機会を提供する事業を継続するほか、子どもたちの創作意欲をさらに高め、読解力・表現力の向上をはかるため、「とちぎジュニア文芸文章教室」を開催します。そのほか、市民の文化芸術活動を支援するため、今後も学校施設の開放事業を行います。</p>
	<p>(2)文化活動団体の活動支援・指導者育成</p> <p>文化活動促進のツールのひとつとして文化団体等の活動情報提供を継続するほか、文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行います。</p>
	<p>(3)文化芸術の鑑賞機会の提供</p> <p>市民の文化芸術への関心を高めるため、感染症対策を行いながら、鑑賞者アンケート等を踏まえた事業を実施し、市民が良質な文化芸術を直接鑑賞する機会の提供に取り組みます。また、市民が身近に芸術・文化に親しめる機会を提供するため、北海道立帯広美術館の特別企画展へ参画します。</p>

個別施策	6-19 文化資源の継承・活用
めざす姿	歴史、伝統、文化への理解を通じて、ふるさとへの誇りと愛着を持っています。
施策担当課	百年記念館

成果指標の状況							
指標名	市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数（件）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	2,161	1,728	1,638				2,269以上

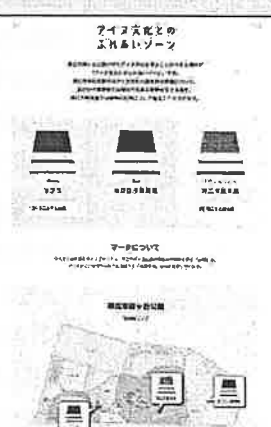
<成果指標の達成状況>
R2と比較して90件減少しており、目標値に向けて進捗していません。感染症の流行に伴う市民の外出自粛等により、文化財・史跡等への訪問機会の減少が影響したことによるものと考えられます。

令和3年度の主な取り組みの内容

◆アイヌ文化とのふれあいゾーン形成事業

帯広市緑ヶ丘公園内にある、百年記念館、おびひろ動物園、帯広市野草園ではアイヌ文化に気軽に触れ、学習できる場所として、アイヌ文化とのふれあいゾーン形成事業に取り組みました。

リニューアルした「リウカ」公式ページと、野草園・動物園のアイヌ文化解説を二次元コードで結び、それぞれの施設を気軽に歩きながら関心を深められるほか、5か国語に対応し、学校教育にも利用できる、常設展示室「アイヌ文化モバイルガイド」を整備しました。

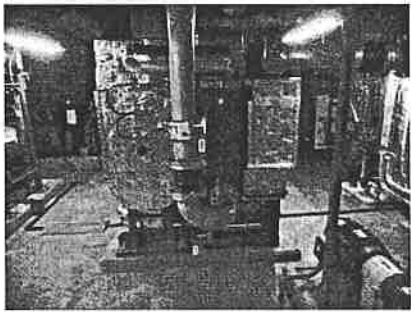


「アイヌ文化とのふれあいゾーン」紹介ページ

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)文化財等の調査・保存・活用</p> <p>十勝鉄道蒸気機関車・客車の保守点検委託等による文化財の管理、及び史跡標示板の修繕を行ったほか、埋蔵文化財センターを中心に開発行為と埋蔵文化財保護の調整を行いました。また、重要文化財「八千代A遺跡出土品」を活用した学校用教材の作成に取り組んだほか、文化財を活用する事業としてぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車4号及び客車コハ23号の公開を行いました。</p>
	<p>(2)アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及</p> <p>「帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助金」により活動の補助を行ったほか、伝統的生活空間（イオル）再生事業として古式舞踊の披露や植物観察会等の講座を実施しました。</p>
	<p>(3)市史資料収集・保存</p> <p>令和2年度の出来事をまとめた「年史報告書」を作成しました。また、収集事業資料の公開事業として古文書の連続講座を実施しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)文化財等の調査・保存・活用</p> <p>今後も文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行います。また、文化財を活用する事業を継続して実施していくほか、「八千代A遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、専門業者による修理・美装化を実施できるよう、計画的に取り組みをすすめます。</p>
	<p>(2)アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及</p> <p>帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助、及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存・伝承団体への支援に取り組めます。</p>
	<p>(3)市史資料収集・保存</p> <p>「年史報告書」を作成に取り組むとともに、令和4年度の帯広市開拓140年・市制施行90年の周年事業実施を通じて、資料収集事業に取り組めます。</p>

個別施策	6-20 文化施設の整備・管理運営
めざす姿	市民が文化施設に魅力を感じ、積極的に活用しています。
施策担当課	生涯学習文化課、百年記念館

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度 (%)						
区分	基準値 【H26~H30 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	83.0	84.3	87.6				88.0 以上
<p><成果指標の達成状況> R2より3.3ポイント増加し、目標値に向けて進捗しています。計画的な修繕や利用者の声を反映し、施設サービスの改善をすすめたことによるものと考えられます。</p>							


令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆市民文化ホールの施設整備</p> <p>市民文化ホールは、さまざまな文化の発信や交流の拠点施設として、多彩なイベントの開催や鑑賞の機会を提供しており、安全・安心に利用できるよう、長寿命化等に向けた計画的かつ効率的な修繕・更新をすすめています。</p> <p>令和3年度は、冷暖房機能の中核を担う吸収式冷温水発生器の更新等を実施し、施設の機能維持に向けた整備を行いました。</p>	 <p>更新後の市民文化ホールの 吸収式冷温水発生器</p>

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)計画的な施設整備の実施</p> <p>利用者の安全性を確保するとともに施設の機能を発揮するため、市民文化ホールの吸収式冷温水発生器の更新等を実施したほか、修繕等の施設の機能維持向上に向けた整備を行いました。</p>
	<p>(2)適切な管理運営の推進</p> <p>市民文化ホールでは、感染症対策を行いながら、安心して利用できる環境づくりに取り組んだ結果、利用者は前年度より65,490人増加しました。また、指定管理者による利用者ニーズを意識した適切な管理運営により、施設利用者の高い満足度が得られています。そのほか、市直営施設では、利用者ニーズを捉え、委託管理により利便性の向上をはかりながら、効果的・効率的な管理運営に取り組みました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)計画的な施設整備の実施</p> <p>文化施設においては、大半の施設で供用開始から30年以上が経過し、施設本体や設備、備品の老朽化がすすんでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。</p>
	<p>(2)適切な管理運営の推進</p> <p>感染症の影響により、施設利用者数や使用料・利用料金収入の増加が見込みにくい状況となっていますが、適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組みます。</p>

基本施策7 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

個別施策	7-21 多様なスポーツ活動の促進
めざす姿	誰もが、「する・みる・ささえる」など多様な形で、スポーツに親しんでいます。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	市内小学生数における帯広市スポーツ少年団登録者数の割合 (%)						
区分	基準値 【H27~R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	21.0	18.1	17.6				22.0以上
<p><成果指標の達成状況></p> <p>R2と比較して0.5ポイント減少しており、目標値に向けて進捗していません。感染症流行の長期化等に伴いスポーツ活動の規模が依然として縮小しており、少年団の活動に影響が出たことによるものと考えられます。</p>							



令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆スポーツ少年団への支援</p> <p>帯広市内のスポーツ少年団活動の奨励を目的とした運営費の補助、ならびに少年団指導者の養成及び活動の奨励を目的とした補助を行い、帯広市内のスポーツ振興につなげています。</p> <p>令和3年度末時点で帯広市内のスポーツ少年団は70団体、登録者数は1,440人となっており、当市は道内市町村の中でも札幌市に続いて2番目に少年団員数が多くなっています。</p> <p>今後もスポーツ少年団活動の奨励、少年団指導者の養成及び活動の奨励事業を継続実施することで少年団加入割合の高い水準を維持する必要があります。</p>	 <p>帯広市スポーツ少年団指導者 研修会の模様</p>

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	(1)スポーツの振興 スポーツ振興及び更なる競技力の向上をはかるため、競技大会への選手等の派遣支援等を行いました。また、スポーツの普及・振興に貢献のあった人を顕彰するため、スポーツ賞において1個人・1団体、スポーツ奨励賞において8個人・1団体を表彰したほか、北京冬季オリンピックで活躍した地元出身選手に対し、市民栄誉賞1個人、特別表彰では3個人を表彰しました。そのほか、各種全国・全道大会等の誘致や開催支援、合宿・プロスポーツ等の誘致を通して市民への観戦機会を提供しました。
	(2)スポーツ団体の支援・指導者人材の育成 スポーツ少年団本部及び競技団体である帯広市スポーツ協会への支援を実施したほか、スポーツ少年団指導者育成の支援を行いました。
	(3)スケート競技の振興 スピードスケート競技のすそ野拡大を目的とした「ほっとドリームプロジェクト」を実施し、競技者育成及び地域応援体制の整備を行ったほか、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放を通して、地域のスポーツ文化であるスケートの普及振興に取り組みました。
課題及び今後の方向性	(1)スポーツの振興 競技大会への選手等の派遣支援を通して、競技スポーツ活動を支援するほか、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施や市民へのスポーツ観戦機会の提供により、スポーツ振興をすすめます。
	(2)スポーツ団体の支援・指導者人材の育成 感染症の影響が長期化したことにより、様々な活動の規模が縮小していますが、安全確保に関する指導者への研修などを通して、感染症対策等の正確かつ最新情報の提供に努めるとともに、少年団へ安心して加入できる環境づくりをすすめます。
	(3)スケート競技の振興 スピードスケートをはじめとした地域における各種競技スポーツを普及し、競技者人口の拡大や競技力の向上に取り組むほか、各種大会等の開催支援を行います。また、スピードスケート教室に対する地域の需要が高いことから、「ほっとドリームプロジェクト」や、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放を通して、スケート競技の普及促進に取り組みます。

個別施策	7-22 スポーツによる活力のあるまちづくり
めざす姿	誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツで集い、まちの賑わいづくりにつながっています。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	1年間のうち、する、みる、ささえることでスポーツに関わった市民の割合 (%)						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	824	820	90.1				87.0以上


<成果指標の達成状況>
R2と比較して8.1ポイント増加し、目標値を達成しています。感染症の影響下にありながら、夏季・冬季オリンピックの開催や市内における各種全国・全道大会、プロスポーツの試合等の一部再開などにより、人々のスポーツへの関心が高まったことによるものと考えられます。

令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆各種スポーツ教室の開催</p> <p>「ひとり1スポーツ」の考え方にに基づき、市民が気軽に参加できるスポーツ機会の創出を目指し、帯広市健康スポーツ推進委員会や帯広市スポーツ推進委員が企画する各種イベント・教室を実施しました。</p> <p>帯広市スポーツ推進委員による地域事業による令和3年度のスポーツ教室は22回、参加人数は735人となりました。</p>	 <p>「走り方」教室</p>
<p>◆第94回日本学生氷上競技選手権大会の開催</p> <p>第94回日本学生氷上競技選手権大会は、令和3年12月24日～令和4年1月7日の日程で、帯広の森アイスアリーナなどでアイスホッケー、フィギュアスケート、スピードスケートの3競技が行われました。</p> <p>感染症拡大防止のため、無観客での実施となりましたが、選手総勢1,210名が熱い戦いを繰り広げました。</p>	 <p>大会プログラム</p>

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)地域スポーツの振興</p> <p>スポーツ推進委員が中心となって実施する各種スポーツ教室を22回開催し、延べ735人が参加しました。また、地域住民が自ら企画・運営する6つの総合型地域スポーツクラブの運営支援を行いました。そのほか、市民が身近な場所で気軽にスポーツに親しみ、交流が深められるよう学校施設の開放を実施しました。</p>
	<p>(2)スポーツ大会合宿等誘致</p> <p>競技団体との連携により、日本学生氷上競技選手権大会や日本クラブユースサッカー選手権(U-15)をはじめとする各種全国・全道大会等の誘致及び開催支援のほか、プロスポーツ等の誘致を実施しました。また、フードバレーとかちマラソン大会は、感染症拡大下においても市民が参加しやすいオンライン方式において実施し、738人が参加しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)地域スポーツの振興</p> <p>スポーツ教室の開催を通じて、より多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことのできる機会づくりに取り組みます。学校施設のスポーツ開放については、市民へのスポーツ活動の場を提供するため、学校現場等への感染症の影響に配慮し取り組みます。</p>
	<p>(2)スポーツ大会合宿等誘致</p> <p>スポーツ合宿の誘致については、各競技団体と連携をはかり、感染症対策を講じながら受入体制の整備をすすめます。</p>

個別施策	7-23 スポーツ施設の整備・管理運営
めざす姿	スポーツ大会の開催をはじめ健康増進や仲間づくりなど、多くの方がスポーツ施設を活用しています。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度 (%)						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	77.3	82.7	80.4				82.0以上
<p><成果指標の達成状況></p> <p>R2と比較して2.3ポイント減少し、目標値を下回りました。主な要因として、運動用具・器具の数量の充実を求める声を寄せられていることが挙げられます。今後も多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応した安定的なサービスの提供及び施設整備が必要と考えられます。</p>							

令和3年度の主な取り組みの内容	
<p>◆帯広の森スポーツセンター天井塗装改修工事</p> <p>帯広の森スポーツセンターは平成13年に開場し、夏季はバドミントンや卓球、バスケットボール場として、冬季はアイスホッケーやフィギュアスケートのリンクとして使用されています。</p> <p>これまでも長寿命化のため、効率的・計画的に改修をすすめており、令和3年度には天井塗装を行いました。これにより、天井材の補強がされたほか、場内の明るさが増し、利用環境の向上がはかられました。</p>	 <p>改修後の天井</p>

点検及び評価の結果	
項目	内容
取り組みの成果	<p>(1)計画的な施設整備の実施</p> <p>利用者の安全性を確保するとともに施設の機能を発揮するため、帯広の森スポーツセンター天井塗装改修工事、帯広の森野球場スタンド躯体改修工事、帯広の森陸上競技場フェンス改修工事、帯広の森市民プールプールサイド床改修工事（Ⅰ期）を実施しました。</p>
	<p>(2)適切な管理運営の推進</p> <p>スポーツ施設においては、多様化する利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、民間活力を生かした指定管理者制度を導入しています。また、パークゴルフ場においては、指定管理者制度に加え、地域住民や団体の協力を得ながら市民協働による管理運営を行いました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)計画的な施設整備の実施</p> <p>スポーツ施設の多くが供用開始から20年以上経過し、施設本体や設備、備品の老朽化がすすんでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。</p>
	<p>(2)適切な管理運営の推進</p> <p>多様化していく利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度、及び地域住民や団体の協力による管理運営に取り組みます。</p>

4 教育に関する学識経験者の意見

帯広北高等学校 理事 奥野 淳 一

(帯広北高等学校 元校長)

帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)の2年目である令和3年度の取り組みの成果と課題・今後の方向性を点検・評価された内容・結果については、適切であると判断します。さらに、項目ごとの課題及び今後の方向性についても、的確であると考えます。

今なお世界中を震撼させている、「新型コロナウイルス感染症」に何度となく変異株が出現し、第7波～8波が押し寄せています。そのような中、教育現場のみならず教育行政関係者・保護者はじめ地域全体が影響を受け、本市の教育基本計画に盛り込まれた目標値に近づけることが大変困難な状況であったことを十分に考慮し、今後の施策推進に生かしていただきたいと考えます。

「情報教育の推進」においては、すでに児童生徒に一人一台端末が整備され、教育内容・技術も大きく変化しています。コロナ禍においても、オンラインを活用した学習によって「学び」の流れを止めることなく推進していることに敬意を表します。反面、SNS等の利用により犯罪に巻き込まれる児童生徒が増加していることを考えると、モラルの徹底を今後大きな課題としてほしいものです。同時に教員の意識と質を高め、「学びを生かす力の育成」につながるよう期待します。

「地域との連携・協働の推進」においては、コミュニティ・スクールが新たに17校で導入したということは、とても大きな成果と考えます。令和4年度には全校で導入され、学校・家庭・地域が一体となった教育が進められる中、今後はその体制をどう生かしていくかが課題です。先進的な取り組みをしてきた学校を参考に、内容のあるものとしていくことが大切で、単なる形式に留まることのないよう、着実なる推進・点検・評価を期待します。

「誰もが安心して学べる教育の推進」においては、放課後指導や子どもの居場所づくりが課題となっているなかで、経済的に貧困を抱える子どもや、障がいや学習に困り感を抱えた子どもたちが安心して育っていく環境づくりが急務です。ボランティア組織に多くをゆだねていることも否定できず、行政としても大いに支えていくべきでないかと考えます。日頃から一人ひとりの子どもの様子をしっかりと把握した中で、是非とも、課題解決の推進に力を発揮されることを期待します。

「多様なスポーツ活動の促進」においては、感染症の影響もありスポーツ施設等の関係機関において、大変なご苦労があったことと察しますが、地域の活動のみならず、全国・全道規模の大会開催等で大いに利用され、成果を上げたことは高く評価します。報道によれば、「よつ葉アリーナ十勝」の利用も順調で、大会利用後の評判も高いとのこと、市民の一人として誇りにさえ感じました。帯広市開拓140年・市制施行90年を迎えるなかで、帯広らしい文化・スポーツの振興のあり方を見つめ、さらなる推進に取り組まれることを望みます。

帯広市教育基本計画の基本理念を念頭に、それぞれの施策のさらなる推進を期待します。

帯広市社会教育委員 副委員長 久保田博己

帯広市教育基本計画（令和2年度～令和11年度）の2年目にあたる令和3年度の取り組みの点検・評価は、新型コロナウイルス感染症が引き続き拡大・縮小を繰り返し、前年度同様に生活や活動を制限されたなかで、目標に近づく項目も見られ、適切であると判断します。

（1）基本目標「夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり」

基本施策1「帯広の明日を拓く力の育成」の「ふるさと教育の推進」では、帯広らしい給食の提供を通して、地域の食や産業への理解を今後も促進されることを期待します。「職業観の育成」では、子どもたちが楽しみながら様々な職業体験ができる場を提供するとともに、一人一台端末を活用した多様な調べ学習ができる環境づくりを期待します。「情報教育の推進」では、誰もが安心してSNSなどを利用できるよう、これからも啓発していくことが必要と考えます。

基本施策2「変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成」の「学びを生かす力の育成」では、一人一台端末を活用した個別最適な学びの推進や、読書などを通して能動的な探究心を育むこと、また、「豊かな人間性と創造性の育成」では、道徳心を育むため良質な文化芸術、図書に触れる取り組みを続けていくことが大切であると考えます。「健やかな体の育成」では、朝食を抜いたり、ファストフードのみに片寄らないよう、食育の指導を続けていくことが必要です。

基本施策3「地域とともに育む教育の推進」の「地域との連携・協働の推進」では、コミュニティ・スクールの導入校が増えたことにより、学校、家庭、地域で子どもを見守り、育てていく体制作りを継続して、より良い環境が整うことを期待します。「家庭教育への支援」では、心配なこと、不安なことを相談できるチャンネルを多くして、気軽に相談できる体制をこれからも継続し、広く発言していただきたいです。

基本施策4「安全・安心な教育環境の整備」の「誰もが安心して学べる教育の推進」では、多種多様な考え方、感じ方をする子どもたちがいるなかで、一人ひとりの特性や状況に合わせた環境を整えていくよう期待します。

（2）基本目標「生涯にわたり 学び活躍できる人づくり」

基本施策5「自ら学びともに支える生涯学習の推進」の「学習活動の促進」では、電子書籍の普及、市民大学講座の利用促進に引き続き意を用いていただきたいです。

基本施策6「人か輝く文化芸術活動の推進」の「文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働」では、感染症対策をしっかりと文化芸術活動の継続に努めていくことを期待します。

基本施策7「笑顔をつなげるスポーツ活動の推進」の「スポーツによる活力のあるまちづくり」では、全国・全道大会の誘致及び開催支援、プロスポーツなどの誘致をこれからも継続していただきたいと考えます。さらにQOLを上げるためにも、多種多様なスポーツの啓発活動や実践体験の推進に、より一層取り組まれることを期待します。

「夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり」「生涯にわたり学び 活躍できる人づくり」の基本目標に向けて施策の更なる推進を期待します。

参 考 资 料

○ 令和3年度教育行政執行方針(抜粋)

1. 基本的な考え方

学校教育においては、学習指導要領を踏まえ、幅広い資質・能力の育成をはかるため、子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取り組みを進めるほか、「おびひろ市民学」により、ふるさとの自然環境や歴史、文化、産業、地域住民との関わりを通して、「ふるさと帯広」への誇りや愛着を育む教育を推進してまいります。

生涯学習においては、誰もが生涯にわたって自らの成長や自己実現に必要な知識や技能を学び、その成果を地域社会に主体的に生かすことができるまちづくりを進めていくため、世代を超えた多様な学びのきっかけづくりや、生き生きと活躍できる環境づくりに取り組んでまいります。

また、学校や生涯学習施設においては、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりとしたうえで、市民の皆様が様々な学びや活動を継続できるよう取り組みを進めてまいります。

2. 主な取り組み

(1) 夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり

帯広市エリア・ファミリー構想を基盤として、各エリアの状況に応じた小中一貫教育の推進をはかり、義務教育9年間を通じた教育課程や指導體制の構築に一体的に取り組むほか、コミュニティ・スクールの導入校の拡充に取り組み、学校・家庭・地域が目指す子ども像を共有し、連携・協働した活動を推進してまいります。

また、ICTの効果的な活用により、児童生徒一人ひとりの可能性を引き出す「個別最適な学び」の実現を目指すとともに、子どもたちの読書環境充実のため、学校図書資料等を整備します。

施設整備については、老朽化への対応や、長寿命化改修のほか、教育環境の充実と活力ある学校づくりを進めるため、大空小学校と大空中学校を統合した、施設一体型の義務教育学校の整備を進めます。

学校給食については、子どもたちの健やかな成長のため、安全・安心な地場産食材を活用した帯広らしい給食の提供や、地元生産者との交流などにより、十勝・帯広の基幹産業である農業への理解を促進します。

帯広南商業高等学校については、十勝管内唯一の商業専門高校として、専門的な知識・技術を身に付け、地域社会で即戦力となる教養を備えた人材の育成を目指してまいります。

(2) 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり

生涯学習の推進については、コロナ禍においても事業実施の工夫や、特色を生かした学びの活動により、継続的に学びに取り組む機会を確保してまいります。

児童会館においては、子どもたちの知的好奇心や探求心を喚起するため遊具等を更新するほか、おびひろ動物園においては、アザラシ舎改修や園路整備などを進め、魅力向上をはかってまいります。また、図書館においては、電子書籍の導入などによる読書機会の充実のため電子図書館機能の供用を開始します。

文化芸術活動の推進については、市民芸術祭や道立帯広美術館と連携した事業など、市民主体の文化芸術活動の支援や優れた芸術鑑賞機会を提供するほか、関心が高まっているアイヌ文化の普及・啓発や、アイヌ民族への理解を促進するため、帯広百年記念館など緑ヶ丘公園の3施設連携による、アイヌ文化とのふれあいゾーンを形成してまいります。

スポーツ活動の推進については、延期となっていました東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあたり、オリンピック聖火リレーやパラリンピック採火式などを実施するほか、日本学生氷上競技選手権大会やフードバレーとかちマラソン大会の開催などを通して、誰もが生涯にわたってスポーツに親しむ機会の提供や、にぎわいと交流を促進する取り組みを進めてまいります。

社会教育、文化、スポーツ施設については、長期的な視点を持って、それぞれが効果的に機能を発揮するよう、計画的な施設の改修、長寿命化に取り組み、適切な管理運営に努めてまいります。

○ 令和3年度予算決算

資料 2

(単位:円)

科 目	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	主な内容
教育費	8,330,638,200	7,938,960,213	171,699,060	219,978,927	
教育総務費	285,149,800	253,634,109	0	31,515,691	
教育委員会費	4,916,000	4,746,720	0	169,280	教育委員報酬及び会議等の出席に係る旅費等
事務局費	125,224,000	107,874,174	0	17,349,826	事務局運営費、教職員管理費、奨学金貸付事業、学生支援給付金事業等等
地域連携費	75,726,000	67,827,307	0	7,898,693	学校運営協議会運営費、子どもの居場所づくり事業費、こども学校応援地域事業費等
指導研修費	36,623,800	33,889,551	0	2,734,249	教育相談員・外国人講師に係る報酬等
教育研究所費	17,265,000	15,929,586	0	1,335,414	所員報酬、教育研究所運営費等
教職員住宅費	25,395,000	23,366,771	0	2,028,229	教職員住宅の修繕費、教職員住宅の建設工事費等
小学校費	1,345,121,720	1,232,535,496	51,675,272	60,910,952	
学校管理費	729,517,000	652,844,093	31,050,000	45,622,907	小学校管理費、プール・リンク造成・維持管理費、学校保健事業費、スクールバス運行事業費等
学校営繕費	57,275,340	48,955,386	8,170,360	149,594	学校営繕費
教育振興費	304,900,000	296,772,063	0	8,127,937	教材教具購入費、就学援助費、学校図書資料整備費、教育用コンピュータ管理費等
施設整備費	253,429,380	233,963,954	12,454,912	7,010,514	学校・学習環境整備費、リニューアル改修事業費
中学校費	2,856,384,200	2,744,023,444	83,343,788	29,016,968	
学校管理費	318,189,000	283,619,843	16,650,000	17,919,157	中学校管理費、リンク造成・維持管理費、学校保健事業費、スクールバス運行事業費等
学校営繕費	34,114,010	30,445,678	3,363,800	304,532	学校営繕費
教育振興費	220,065,000	212,389,846	0	7,675,154	教材教具購入費、就学援助費、学校図書資料整備費、教育用コンピュータ管理費等
施設整備費	2,284,016,190	2,217,568,077	63,329,988	3,118,125	学校・学習環境整備費、リニューアル改修事業費、大空学園整備費
高等学校費	110,710,630	104,250,527	2,250,000	4,210,103	
学校管理費	52,534,000	46,790,524	2,250,000	3,493,476	南商管理費、学校保健事業費、国際理解教育推進事業費等
学校営繕費	24,393,630	24,376,110	0	17,520	南商営繕費
教育振興費	28,855,000	28,155,893	0	699,107	教材教具購入費、学習環境管理費、キャリア教育推進費
施設整備費	4,928,000	4,928,000	0	0	学校環境整備費

科 目	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	主な内容
社会教育費	1,169,815,850	1,099,287,317	34,430,000	36,098,533	
社会教育総務費	7,698,000	5,558,258	0	2,139,742	社会教育委員等報酬、講座開催経費等
文化振興費	24,375,000	18,393,179	0	5,981,821	文化団体等補助金、事業開催負担金、文化財経費等
とちちプラザ費	237,966,000	235,870,344	0	2,095,656	とちちプラザ管理費、施設修繕等
市民文化ホール費	239,415,000	233,572,826	0	5,842,174	市民文化ホール管理運営費、施設修繕等
百年記念館費	67,517,850	64,604,140	0	2,913,710	百年記念館管理運営費、施設修繕等
図書館費	166,104,000	125,011,318	34,430,000	6,662,682	図書館管理運営費、図書資料等整備費、図書館資料デジタル化事業費等
児童会館費	57,152,000	54,221,459	0	2,930,541	児童会館管理運営費、野草園管理運営費、行事・実習関連経費等
農業体験実習館費	7,926,000	7,658,420	0	267,580	農業体験実習館管理運営費
動物園費	332,629,000	326,621,506	0	6,007,494	動物園管理運営費、遊具管理費、施設修繕等
市民ギャラリー費	29,033,000	27,775,867	0	1,257,133	市民ギャラリー管理費
保健体育費	2,563,456,000	2,505,229,320	0	58,226,680	
保健体育総務費	73,228,000	39,592,425	0	33,635,575	スポーツ行事・活動関係経費、団体育成・大会開催費、学校開放経費、指導者育成経費等
体育施設費	1,515,018,000	1,507,471,439	0	7,546,561	社会体育施設管理運営費、施設修繕・改修費等
学校給食センター費	975,210,000	958,165,456	0	17,044,544	学校給食センター管理費、賄材料費、委託料、学校給食食育推進費等

※翌年度繰越額は、継続費運次繰越及び繰越明許費

○ 令和3度における主な取り組み一覧

(1) 帯広の明日を拓く力の育成

① ふるさと教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
地域資源を活用したふるさと理解の促進	9年間を通じた「おびひろ市民学」の実施、郷土体験学習（小学4年生対象）、児童会館科学展示室（入場者 19,386人）、ジオラマ展「昭和のおびひろ」（入場者 5,503人）、埋蔵文化財センターの活動、アイヌ民族文化情報センター「リウカ」の活動、小学生のための動物園塾（1回12人）、おびZoo寺子屋（4回、72人）、ほっとドリームプロジェクト（延べ1,840人参加）
食を通じたふるさと理解の促進	「ふるさと給食」の実施、ふるさと農園の実施（啓北小・光南小・清川小）、「おびひろ市民学」による「帯広らしい食育プログラム」の実施
地域社会に参画する意識の醸成	ジュニアリーダー「あるふあの会」（31人）、社会科及び総合的な学習の時間を活用した調べ学習、防災教室の実施（小学校:25校、中学校:13校、計:38校）
環境教育の推進	帯広らしい環境教育プログラム集のホームページへの掲載、児童会館科学展示室（入場者 19,386人）、児童会館での科学教室・工作教室等（941人）、自然系出前講座（9回）

② 職業観の育成

主な取り組み	内訳・実績
学校におけるキャリア教育の推進	インターネットを活用した調べ学習
職業体験機会の充実	1日飼育係（5回、17人）、親子で飼育体験（1回6人）、学校での講話、職業調べに対する協力

③ 情報教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
情報活用能力の育成	夏期研修講座における教職員向け研修
情報モラルの育成	帯広市ネット非行対策講演会、携帯電話販売店の立入調査（26店）、各校で外部講師等を活用した情報教室の開催
プログラミング教育の推進	プログラミング教育事業研究実践指定校（稲田小）による実践公開

④ 国際理解教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	外国語指導講師（ALT）を全小中学校に派遣
多様な国の伝統・文化に関する理解の促進	国際交流員や JICA 職員の学校訪問

⑤ 南商業高等学校における教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
商業教育の充実	外国人英語指導助手配置（1人）
地域経済に貢献する人材の育成	外部講師によるマナー講習会の実施、進路指導教諭によるガイダンスの実施
地域社会との連携・協働による教育の推進	学校運営協議会の設置
地域とつながる活動の推進	学校ホームページによる情報発信

（２） 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

⑥ 学びを生かす力の育成

主な取り組み	内訳・実績
学校における授業の工夫・改善	「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した授業、ICTを活用した授業
学習活動の支援	長期休業期間や放課後の時間を活用して学習会を開催、データベース教材の作成（おびひろタイピング・都道府県パズル）、ぶっくーる便（590件・20,650冊）
教育課程の工夫・改善	教育課程編成の手引きの作成、小中学校における一貫性のある教育課程、標準学力調査、研究紀要「帯広の子どもの学力」発行
学力の分析・検証	特筆項目なし
体験的・問題解決的学習の推進	観察・実験などの体験学習の推進、自由研究応援！むしの標本づくりにチャレンジ！（畜大連携事業・1回、15人）、児童会館での宿泊学習等（2,488人）、プラネタリウム上映（入場者 4,040人）

⑦ 豊かな人間性と創造性の育成

主な取り組み	内訳・実績
道徳教育の充実	学校指導訪問での指導・助言
読書活動の推進	学校図書館の図書資料の整備・充実(39,202冊)、司書教諭の配置(29校、29人)、学校図書運営委員会への補助(40者)、図書ボランティアとの連携、おはなし会(48回、1,143人)、キミハノチカラシリーズブックリスト発行(2回)
文化芸術活動の推進	機関車トーマスファミリーミュージカル(569人)
体験活動の推進	乗り物利用学習等の体験活動の実施、児童会館科学展示室(入場者19,386人)、児童会館での体験活動(科学教室・工作教室等941人、文化関連事業6,661人)、野草園の利用者(13,315人)、体験教室(19人)、夏休み親子陶芸教室(3回、98人)、冬休み親子陶芸教室(3回、92人)、親子七宝教室(2回、32人)、1日飼育係(5回、17人)、親子で飼育体験(1回、6人)、ふれあい教室・ぬくもり体験(44組、1,518人)

⑧ 健やかな体の育成

主な取り組み	内訳・実績
体力・運動能力の向上	帯広市体力・運動能力の調査分析、スポーツ少年団本部への支援(少年団数70団体、登録者数1,440人)、スポーツ少年団指導者育成の支援(347人)、ほっとドリームプロジェクト(延べ1,840人参加)
安全・安心な学校給食の提供	地場産食材の導入促進、アレルギー対応の実施(198人)
正しい「食」への理解の推進	「食育通信」の配付、食育推進会議を開催し食育推進部会でリーフレット等の作成、「おびひろ市民学」において各校に食育指導専門員を派遣し「帯広らしい食育プログラム」の実施、食関連図書展示「いただきます☆ごちそうさま」
健康教育・健康保持	がん教育等健康に関する出前講座の開催、男女共同参画に関わった資料配付

⑨ 教員の資質・能力の向上

主な取り組み	内訳・実績
教員の指導力の向上	指導主事による学校教育指導における指導・助言、教員リーダー育成講座（4回）、パソコン研修講座（171回）、帯広市教育研究会事業補助、ほっとドリームプロジェクト（延べ1,840人参加）
教職員の働き方改革の推進	校務用PC更新772台、教職員住宅の整備（改築：清川中）

（3） 地域とともに育む教育の推進

⑩ 地域との連携・協働の推進

主な取り組み	内訳・実績
地域における支援体制の充実	コミュニティ・スクールの拡充（17校16協議会）、帯広市コミュニティ・スクール通信の発行（3回）、リーフレットの作成・配布、学校支援地域本部の運営（14本部40校） こども学校応援地域交付金の交付（11団体）、帯広市学校・家庭・地域協働会議の開催（2回）、指導主事による学校教育指導におけるコミュニティ・スクール推進に係る指導・助言
子どもの安全対策の充実	子どもの見守り活動実施（全小中学校40校）、子ども110番の家設置登録（1,009件）、通学路安全対策連絡協議会の開催（全2回）、通学路危険箇所合同点検（13箇所）、帯広市子供安全ネットワークの活用
地域主体の体験活動への支援	放課後子ども広場の実施（25校、延べ186回、延べ2,111人）、帯広市生涯学習推進委員協議会として帯広市学校・家庭・地域協働会議に出席（2回）

⑪ 家庭教育への支援

主な取り組み	内訳・実績
教育相談の充実	家庭訪問相談員等の教育相談員の配置
家庭教育力向上のための支援	「食育通信」の配付、起床や食事の摂取状況を家庭において記録するためシートを配付、家庭教育学級（7学級、69人）、わくわく♪ドキドキ!!家読（うちどく）にチャレンジ！（1回、76人）
PTAとの連携の促進	学校とPTAの間での情報交換、帯広市PTA連合会への補助

⑫ 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進

主な取り組み	内訳・実績
学校間の連携の推進	帯広市幼保小中連携推進委員会の設置、帯広市エリア・ファミリー構想の推進（市内全 14 エリアで協議の場を設置）
通学区域の見直しの実施	特筆項目なし

（４） 安全・安心な教育環境の整備

⑬ 誰もが安心して学べる教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
いじめ・非行の防止	街頭巡回活動(322 回)、声かけ指導人数(474 人)、道徳などの教科を通じて、いじめや人権について考え議論する取り組み
不登校への対応	家庭訪問相談員等による相談業務と学校指導適応教室の運営
教育機会の確保	就学援助認定（小 1,352 人、中 775 人）、奨学金貸付（大学生 34 人、専門学校生 2 人）、障害者高等教育補助（104 人）
一人ひとりに応じた教育の充実	就学に関する教育相談の実施(462 件)、特別支援教育助手の配置(7 人)、特別支援教育補助員の配置(68 人)、生活介助員の配置(31 人)、特別支援学級の運営、小規模特認校就学(児童 2 人)、特別支援学級在籍児童生徒の個別の指導計画及び支援計画を作成

⑭ 安全で充実した教育環境の整備

主な取り組み	内訳・実績
学校施設の整備	大空学園義務教育学校工事完了、ボイラー改修（啓西小、つつじが丘小、第一中）、トイレ洋式化改修（小学校 4 校、中学校 4 校、南商業高等学校）、煙突用断熱材除去工事（緑丘小、柏小）、屋内体育館バスケットゴール修繕・特別教室等無線 LAN 整備・特別教室等網戸設置（南商業高等学校）ほか個別改修の実施
学習環境の整備	教育用パソコンの活用(1,433 台)、教育用コンピューター機器の更新(508 台)、G I G A スクール構想を踏まえたタブレット端末導入（児童生徒用 12,002 台、教職員用 733 台）、貸与用タブレット端末等整備（50 台）、机・椅子更新(小学校 3・4 年生 21 校 2,510 セット)
学校適正規模確保の推進	大空学園義務教育学校準備協議会の開催（全 4 回）校歌・校章決定

(5) 自ら学びともに支える生涯学習の推進

⑮ 学習活動の促進

主な取り組み	内訳・実績
学習機会や情報の提供	市民大学講座（26 講座、受講者 980 人）、生涯学習情報誌（情報誌「まなびや」成人向け 4 回、小学生向け 2 回）、地域の学習情報・指導者情報のホームページでの提供、放送大学帯広学習室の設置（利用者 11 人）、子ども向けプチ講演会「帯広で見つけた！縄文時代の遺跡のおはなし」（1 回、21 人）、電子図書館（貸出冊数 188,883 冊）、博物館講座（263 人）、郷土学習見学会（30 人）、連続講座（76 人）、体験教室（19 人）、企画展（2,656 人）、収蔵作品展（1,603 人）、レファレンス、親子で挑戦！動物園のミステリークイズ（2 回、45 人）、おびZoo寺子屋（4 回、72 人）、夜Zoo探検隊・おびZoo探検隊（6 回 174 人）、スポットガイド（随時）、小学生のための動物園塾（1 回 12 人）、1日飼育係（5 回、17 人）、親子で飼育体験（1 回 6 人）、ふれあい教室・ぬくもり体験（44 組、1,518 人）、SNS による情報発信

⑯ 学習を通じたまちづくり

主な取り組み	内訳・実績
自主的な学習活動の支援	コミュニティ講座（4,609 人）、語り手育成講習会（3 講座、4 回、35 人）、レコードコンサート（3 回）
地域の人材の育成・活用	学生の社会参加（17 日実施、参加者数 22 人）、令和 4 年成人の集い（1,026 人）、生涯学習コーディネーターの支援、地域の指導者の登録者数（177 人）、学生によるボランティア活動の機会提供・取り組みへの支援、帯広畜産大学との共同研究の実施

⑰ 社会教育施設の整備・管理運営

主な取り組み	内訳・実績
計画的な施設整備の実施	とちプラザの施設整備（アトリウム屋上防水補修工事、非常用蓄電池設備改修工事）、児童会館の施設整備（非常用自家発電設備更新工事実施設計委託、プラネタリウム投影機の更新と改修、遊び場の改修（第二講堂）等）、百年記念館の施設整備（ガス強制気化装置修繕、非常用発電機噴射ポンプ修繕、東側外部パネル目地修繕）、動物園の施設整備（第 2 高圧受電設備更新、給水管更新工事、冷凍庫室修繕）
適切な管理運営の推進	施設利用者数（とちプラザ 171,929 人、帯広市図書館 143,652 人、帯広百年記念館 53,397 人、おびひろ動物園 125,616 人、帯広市児童会館 115,361 人、帯広市野草園 13,315 人、帯広市岩内自然の村 5,435 人）、アイヌ文化とのふれあいゾーン形成・野草園看板等更新

(6) 人が輝く文化芸術活動の推進

⑱ 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働

主な取り組み	内訳・実績
市民文化芸術活動の促進	第40回おびひろ市民芸術祭(出演者・出品者数755人)、大ホールでスタインウェイを弾いてみよう!(参加者129人)、ティータイムコンサート(出演1団体)、ロビーコンサート(出演者2人、6団体)、地元出身在住者新人演奏会(出演者5人)、フルコンサートピアノ弾き比べ体験会(参加者8人)、市民文藝第61号(107人1,152作品)、とかちジュニア文芸第12号(応募者数297人、309作品)、とかちジュニア文芸文章教室(3講座、6人)
文化活動団体の活動支援・指導者育成	文化団体等の情報提供(ホームページ掲載団体252団体)、帯広市文化賞等(3個人・1団体)、芸術文化活動振興事業補助金(2団体)、青少年芸術文化活動派遣研修補助金(5件)
文化芸術の鑑賞機会の提供	高嶋ちさ子12人のヴァイオリニストコンサートツアー2021(1,475人)、企業との協働による文化芸術鑑賞機会の提供・ヴァイオリン&ピアノによるクラシック名曲コンサート(239人)、ティータイムコンサート(253人)、札幌交響楽団特別演奏会(569人)

⑲ 文化資源の継承・活用

主な取り組み	内訳・実績
文化財等の調査・保存・活用	埋蔵文化財センターの活動
アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及	アイヌ民族文化理解促進指導用教材の作成(副読本 おびひろ)、アイヌ民族文化情報センター「リウカ」の活動
市史資料収集・保存	年史報告書の執筆・編集(1冊)、市史専門委員会の開催(4回)、古文書連続講座の開催(1回)

⑳ 文化施設の整備・管理運営

主な取り組み	内訳・実績
計画的な施設整備の実施	市民ギャラリーの施設整備(展示室壁塗装修繕、冷暖房機修繕、非常用バッテリー及び女子トイレ部品修繕)、文化ホールの施設整備(吸収式冷温水発生器更新、真空遮断器不足電圧継電器改修)
適切な管理運営の推進	施設利用者数(帯広市民文化ホール119,942人、おびひろグリーンステージ3,642人、市民ギャラリー14,793人)

(7) 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

㉑ 多様なスポーツ活動の促進

主な取り組み	内訳・実績
スポーツの振興	スポーツ賞（1個人、1団体）、スポーツ奨励賞（8個人、1団体）、市民栄誉賞（1個人）、特別表彰（3個人）
スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	スポーツ大会派遣補助（164件、607人）、スポーツ少年団本部への支援（少年団数70団体、登録者数1,440人）、スポーツ少年団指導者育成の支援（347人）
スケート競技の振興	ほっとドリームプロジェクト（延べ1,840人参加）

㉒ スポーツによる活力のあるまちづくり

主な取り組み	内訳・実績
地域スポーツの振興	スポーツ推進委員の配置（委員数48人）、各種スポーツ教室の開催（22回、延べ735人参加）、総合型地域スポーツクラブへの支援（6団体）、フットバレーとかちマラソン大会のオンライン開催（738人参加）、学校開放事業（スポーツ開放）（301団体、延べ87,860人利用）
スポーツ大会合宿等誘致	各種全国・全道大会等の誘致及び開催支援（14大会への支援）、合宿の誘致（宿泊団体数250団体、宿泊者数4,954人）、プロスポーツ等の誘致

㉓ スポーツ施設の整備・管理運営

主な取り組み	内訳・実績
計画的な施設整備の実施	帯広の森スポーツセンター天井塗装改修工事、帯広の森野球場スタンド躯体改修工事、帯広の森陸上競技場フェンス改修工事、帯広の森市民プールプールサイド床改修工事（I期）
適切な管理運営の推進	体育施設利用者数（1,022,534人）

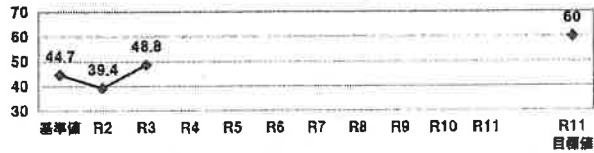
(8) 施策の推進

教育委員会における取り組み
教育委員会会議の会議録のホームページでの公開、社会教育委員会会議の開催（3回）

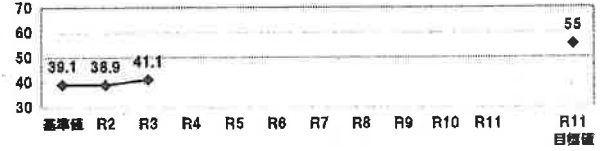
○ 成果指標の推移

基本施策 1：帯広の明日を拓く力の育成

参考図 1. 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合(%)

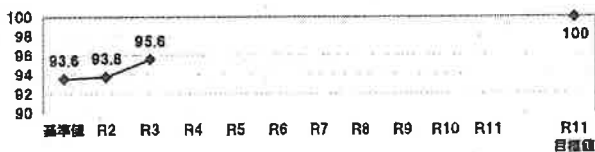


小学生 (基準値はH27～R1平均)

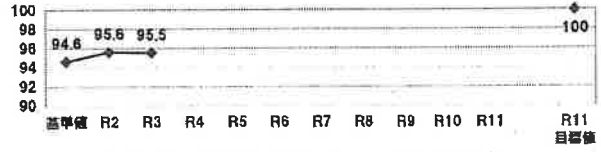


中学生 (基準値はH27～R1平均)

参考図 2. 人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合(%)

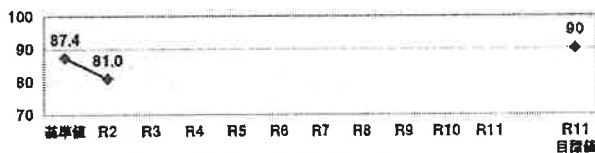


小学生 (基準値はH27～R1平均)

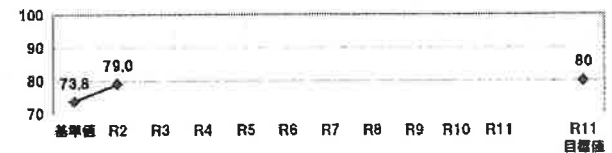


中学生 (基準値はH27～R1平均)

参考図 3. 授業でコンピュータなどのICTを活用したいと思う子どもの割合(%)

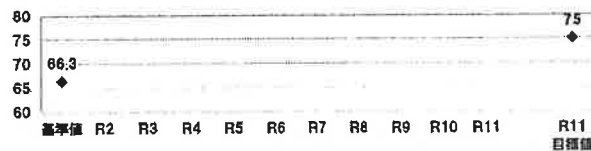


小学生 (基準値はR1)

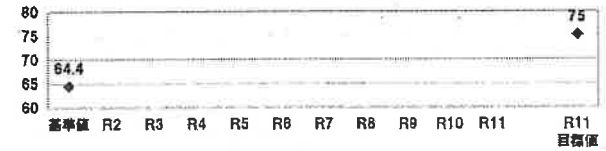


中学生 (基準値はR1)

参考図 4. 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ってみたりしてみたいと思う子どもの割合(%)

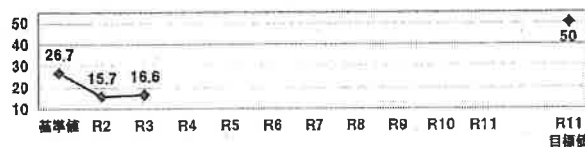


小学生 (基準値はH29～R1平均)



中学生 (基準値はH29～R1平均)

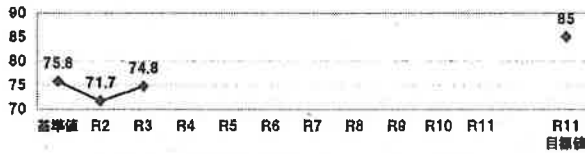
参考図 5. 地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合(%)



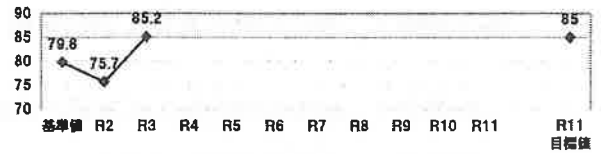
(基準値はR1)

基本施策2：変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

参考図6. 授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合(%)

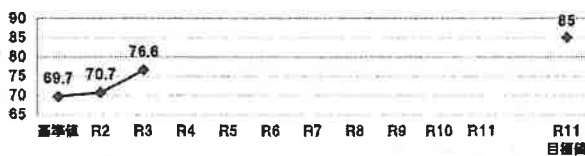


小学生 (基準値はH30～R1平均)

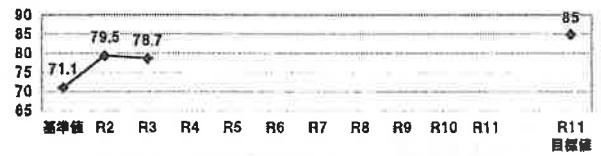


中学生 (基準値はH30～R1平均)

参考図7. 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思っている子どもの割合(%)

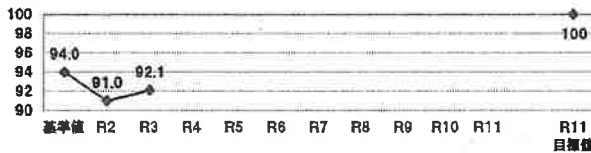


小学生 (基準値はH27～R1平均)

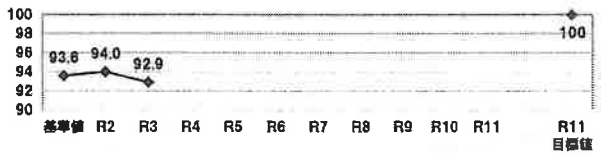


中学生 (基準値はH27～R1平均)

参考図8-1. 朝食を毎日食べている子どもの割合(%)

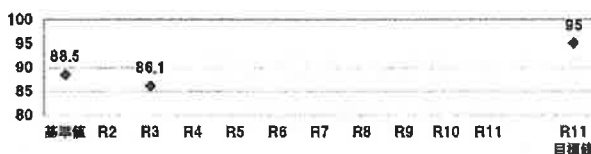


小学生 (基準値はH27～R1平均)

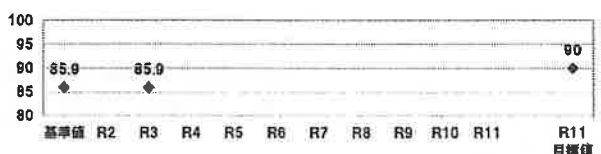


中学生 (基準値はH27～R1平均)

参考図8-2. 1週間当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合(%)

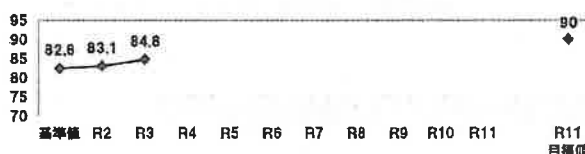


小学生 (基準値はH26～H30平均)

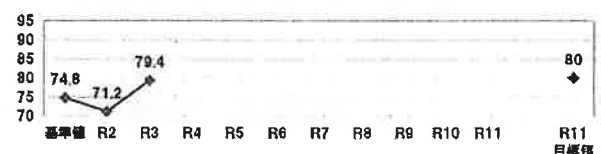


中学生 (基準値はH26～H30平均)

参考図9. 授業の内容がよくわかると思う子どもの割合(%)



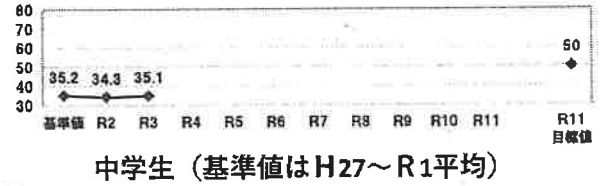
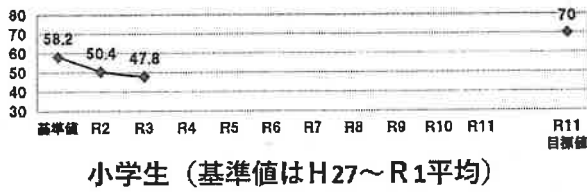
小学生 (基準値はH27～R1平均)



中学生 (基準値はH27～R1平均)

基本施策3：地域とともに育む教育の推進

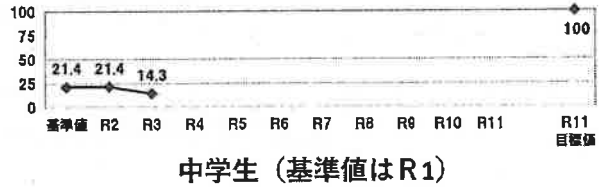
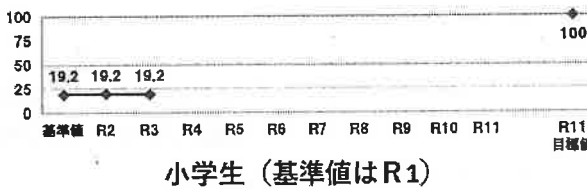
参考図10. 地域の行事に参加している子どもの割合(%)



参考図11. 家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合(%)

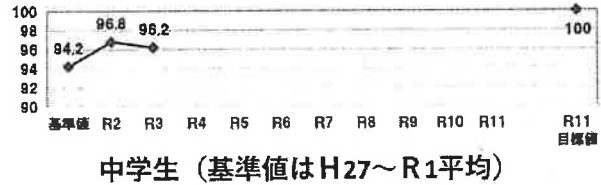


参考図12. 小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合(%)

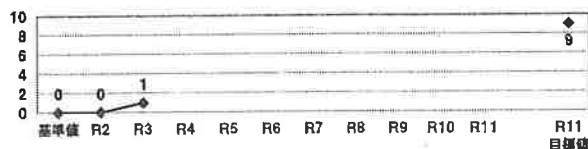


基本施策4：安全・安心な教育環境の整備

参考図13. 「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合(%)



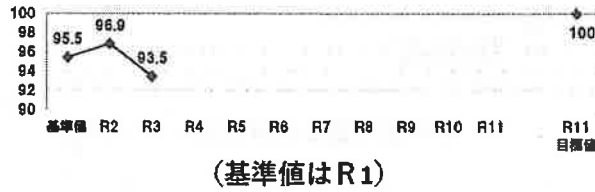
参考図14. 長寿命化改修の実施校数(校)



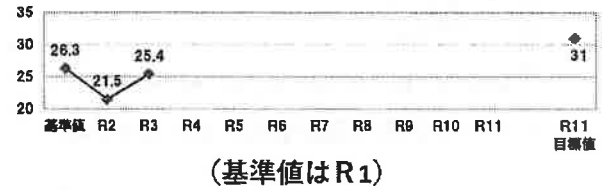
(基準値はH30)

基本施策5：自ら学びともに支える生涯学習の推進

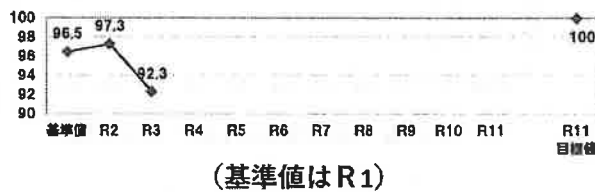
参考図15. 講座の満足度(%)



参考図16. 学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合(%)

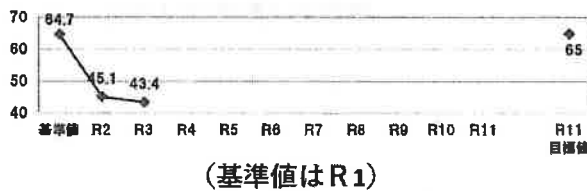


参考図17. 施設利用者の満足度(%)

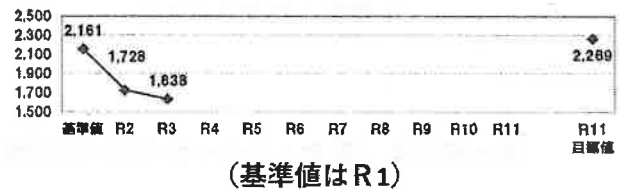


基本施策6：人が輝く文化芸術活動の推進

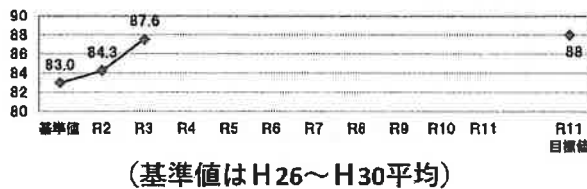
参考図18. 直近1年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合(%)



参考図19. 市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数(件)

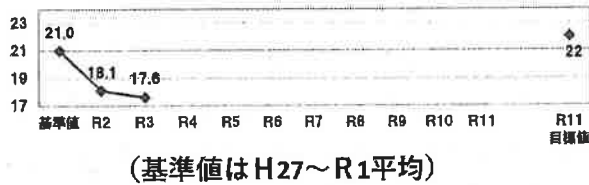


参考図20. 施設利用者の満足度(%)

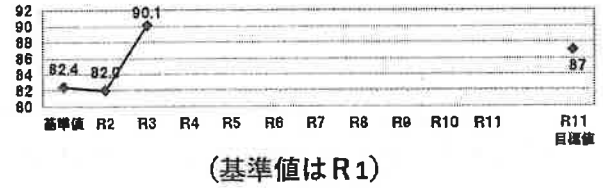


基本施策7：笑顔をつなげる教育活動の推進

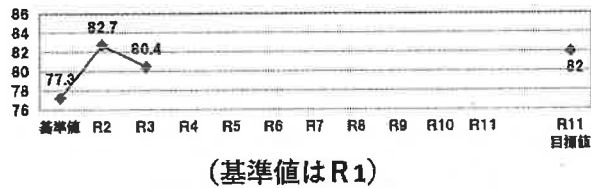
参考図21. 市内小学生数における帯広市
スポーツ少年団登録者数の割合(%)



参考図22. 1年間のうち、する、みる、ささえる
ことでスポーツに関わった市民の割合(%)



参考図23. 施設利用者の満足度(%)



※参考図3. 授業でコンピュータなどのICTを活用したいと思う子どもの割合(%)は、R3年度については全国学力・学習状況調査(文部科学省)における質問項目がなかったため実績値はありません。

※参考図4. 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ってみたりしてみたいと思う子どもの割合(%)は、R2～3年度については全国学力・学習状況調査(文部科学省)における質問項目がなかったため実績値はありません。

※参考図8-2. 1週間当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合(%)は、R2年度については全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)が行われなかったため実績値はありません。

※参考図11. 家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合(%)は、R3年度については全国学力・学習状況調査(文部科学省)における調査項目がなかったため実績値はありません。

○ 課題及び今後の方向性に対する令和3年度の取組み

(1) 帯広の明日を拓く力の育成

① ふるさと教育の推進

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
地域資源を活用したふるさと理解の促進	○「おびひろ市民学」による学びをすすめるほか、地域資源や特色を生かしたスポーツ体験や、動物、科学等に触れる機会を提供する	○「おびひろ市民学」関係団体の新規協力の拡充。地域の動物をテーマとした講座の実施(おびZoo 寺子屋アライグマ編、野鳥編、小学生のための動物園塾)。博物館講座、自然系出前講座の実施
食を通じたふるさと理解の促進	○「ふるさと給食」の提供や、「ふるさと農園」「おびひろ市民学」の取り組みを活かした地域産業への理解を深める教育をすすめる	○栄養教諭や食育指導専門員による「帯広らしい食育プログラム」の実施。地元の農業関係者等と連携し、地元産野菜の導入促進
地域社会に参画する意識の醸成	○リーダー養成事業の周知に加え、事業内容自体を子どもたちの興味を引くよう工夫し、今の時代に合った養成事業の充実をはかる ○計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組み等の基本的な知識を身に付ける教育をすすめる	○活動の周知や内容に応じて必要となる感染症対策を行い、青少年リーダーを養成 ○小中学校における租税教室や防災教室の実施
環境教育の推進	○帯広の自然や施設を活用した体験機会や、学校以外の教育施設を活用し地域の自然環境を学ぶ機会を設ける	○科学教室・工作教室、地質講座、自然系出前講座の実施。各教科の学習や児童会・生徒会活動を通じて、実社会との結びつきを意識した教育の実施

② 職業観の育成

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
学校におけるキャリア教育の推進	○「おび学ファイル(ポートフォリオ)」を活用し、新たな学習や生活への意欲の育成に取り組めるよう、指導・助言を継続する ○積極的にキャリア教育に取り組んでいる学校の事例について、情報共有をすすめる	○「おび学ファイル(ポートフォリオ)」の継続活用。キャリア意識の向上による社会的・職業的自立に向けて各校へ指導・助言 ○キャリア教育の実践について、小中連携をはじめとする学校間連携が十分にはかられるよう情報共有

職業体験機会の充実	<p>○おびひろキッズタウンについては、感染症対策を含めた運営方法や開催時期等の協議を行いながら実施する</p> <p>○図書館において、感染症流行の状況に応じて、電話による職場インタビュー等の対応を検討する</p> <p>○百年記念館において、地域資料を収集する博物館としての特色を活かしたインターンシップを継続する</p> <p>○動物園における飼育体験等の事業は引き続き内容の充実に向けて取り組む</p>	<p>○おびひろキッズタウンは感染症拡大の影響により中止</p> <p>○図書館での職場インタビューは感染症の拡大時期を外して、短時間・対面により実施</p> <p>○百年記念館でのインターンシップは感染症拡大の影響により中止</p> <p>○動物園では小学生の1日飼育係、親子で飼育体験、インターンシップ、キャリア教育（講話）の実施</p>
-----------	---	---

③ 情報教育の推進

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の実施
情報活用能力の育成	<p>○ICTを活用したスマート農業等、地元企業と連携しICTの活用に関する学習をすすめる</p>	<p>○一人一台端末を使用したICTの活用に関する学習の実施</p>
情報モラルの育成	<p>○関係機関と連携し、SNSの正しい利用やインターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組む</p>	<p>○関係機関との連携による講演会の開催。販売店への立入調査の実施</p>
プログラミング教育の推進	<p>○プログラミング教育を行う単元について、各学校が教育課程へ位置付け、モデル授業や校内実技研修を開催する</p>	<p>○一人一台端末を活用し、発達段階に応じたモデル授業や校内実技研修の開催。プログラム体験の実施</p>

④ 国際理解教育の推進

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の実施
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	<p>○外国語指導講師の活用に向けた研修を行い、授業力の向上をはかる</p> <p>○外国語による児童生徒の実践的・日常的コミュニケーション能力の向上をはかる</p>	<p>○小学校における外国語専科教員の配置。外国語指導講師の授業力向上をはかる研修の実施</p> <p>○実践的・日常的コミュニケーション能力の向上をはかる授業の実施</p>
多様な国の伝統・文化に関する理解の促進	<p>○外国語指導講師による外国語のサポート学習に取り組むほか、体験的な活動を重視した国際理解教育の実践をすすめる</p>	<p>○中学生の外国語のサポート学習の実施。長期休業期間等における外国語指導講師による教材作成の補助。森の交流館・十勝等の地域の施設や人材の活用</p>

⑤ 南商業高等学校における教育の推進

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取り組み
商業教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて実践力を高める。多様な進路に対応した教育課程の編成に取り組む ○感染症の状況に応じて安全に交流できる時期を見定め、マディソン市派遣研修実行委員会等と連携して取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国商業実務検定の1級を3種目以上取得した生徒の割合が85%と、全道の商業高等学校のなかで最多 ○マディソン市派遣研修は感染症拡大により中止
地域経済に貢献する人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○外部講師による講習会の開催のほか、進路指導や模擬面接等の即戦力となる人材育成の充実に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ○外部講師によるマナー講習会の実施。進路指導教諭によるガイダンスの実施
地域社会との連携・協働による教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ・スクールの設置
地域とつながる活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○学校開放講座については、リモートやオンラインでの開催等を検討する ○感染症の状況に応じて安全にボランティア活動に参加できる時期を見定めつつ、主催者等と連携して取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校開放講座、生徒によるボランティア活動は感染症拡大により中止 ○学校ホームページによる情報発信

（２） 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

⑥ 学びを生かす力の育成

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取り組み
学校における授業の工夫・改善	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一台端末を活用した授業の推進により、個別最適化された学びや協動的な学びをすすめる 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題提示や考えの共有、振り返りの場面において、一人一台端末を活用した授業の実施
学習活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一台端末で活用できる教材作りに取り組む ○「ぶっくーる便」の計画的な入替により子どもたちにとって魅力的な図書を提供する ○感染症の流行による学校の学級閉鎖や臨時休業に備え、オンラインを活用した学びの保障をすすめる 	<ul style="list-style-type: none"> ○Chromebook と親和性の高いアプリケーションの開発。常時ダウンロード可能な小中学生向け教材のホームページへの掲載 ○「ぶっくーる便」の入替。絵本セットの導入 ○放課後学習会の開催。オンライン学習等での学びの提供

教育課程の工夫・改善	○目標の実現に必要な教育の内容等を、教科等横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントの充実をすすめる	○「教育課程編成の手引き」の作成。学校行事のあり方について方向性の共有
学力の分析・検証	○分析・検証の精度を更に高めるために、より検査母数の多い学力検査の提供元を模索する	○検査母数の多い「標準学力調査」への変更
体験的・問題解決的学習の推進	○図書館では子どもたちが興味を持って意欲的に調べる学習につながるようなテーマを選定する ○児童会館では学校の二ーズを踏まえながら各種の学習機会を提供する ○オンラインの活用等による実施方法の工夫をすすめる	○畜大連携事業「自由研究応援！むしの標本づくりにチャレンジ！！」の開催 ○科学実験・工作教室等の開催 ○オンラインを活用した施設見学の実施

⑦ 豊かな人間性と創造性の育成

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
道徳教育の充実	○道徳科の授業改善や子どもたちの道徳性を育てる取り組みをすすめる	○校内外における教職員向け研修の実施。他教科との関連や評価の充実等による道徳科を要とした教育活動の展開
読書活動の推進	○電子書籍の活用促進等による多様な読書機会の確保のほか、読書活動の活性化をはかる ○将来の担い手として、「語り手育成講習会」等により新規ボランティアを養成する	○朝学習等における電子書籍の活用。図書ボランティアによる読み聞かせ活動の実施 ○「語り手育成講習会」における入門編、読書ボランティア応援編、ステップアップ編の実施
文化芸術活動の推進	○ICTを活用した演劇鑑賞等の良質な文化芸術に触れる機会を提供する。 ○各学校の学習発表会や文化祭の様子の発信等を通し、感染症対策を講じながら子どもたちの情操教育をすすめる	○子供向け鑑賞機会提供事業の実施 ○ICTを活用し、学習発表会や文化祭の様子を発信
体験活動の推進	○各種社会教育施設と連携し、空間的・時間的な工夫を通じて、子どもたちに豊かな体験活動機会の提供に取り組む	○おびひろ市民学でのICTを活用したオンライン工場見学の実施。児童会館での科学教室・工作教室等の開催。百年記念館での親子陶芸教室、親子七宝教室、体験教室の実施。動物園での1日飼育係、親子で飼育体験の実施

⑧ 健やかな体の育成

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
体力・運動能力の向上	○子どもたちの体力・運動能力の分析・検証を通し、授業や生活習慣の改善をすすめる	○体力向上推進プロジェクトチームによる研修会の開催及び各学校への派遣指導の実施
安全・安心な学校給食の提供	○地場産食材の活用をすすめるほか、適切な栄養バランスを考慮した学校給食の提供による児童生徒の健全な心身の発達をはかる ○学校給食における食物アレルギー事故防止に向けて取り組む	○安全安心な地元産食材の導入促進 ○食物アレルギーを持つ児童生徒に対してアレルギー除去食（卵、乳）の提供。「給食だより」へのアレルギー情報の表示。
正しい「食」への理解の推進	○「食育通信」等資料の配付を通して、健全な食生活を実践できる資質・能力の育成をすすめる ○図書館では食育月間に合わせて、食をテーマにした映画会・おはなし会を開催する	○「食育通信」の発行 ○食の映画会「映画 続・深夜食堂」の上映。食に関する展示の実施
健康教育・健康保持	○学校保健委員会の設置率向上に向けた取り組みをすすめる。 ○子どもたちが性に関する正しい知識を身に付けることができるよう、発達の段階に応じた教育をすすめる	○学校保健委員会の設置目的についての通知および設置状況についての照会を実施 ○生理の貧困問題等についての情報交換等の実施。心身の発達に関して理解を深め、自分や他者の価値を尊重し相手を思いやる心を醸成できるよう、国や道からの通知等の情報を提供

⑨ 教員の資質・能力の向上

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
教員の指導力の向上	○オンラインの活用等により学級経営・授業改善ワンポイント講座を実施する。教職員向けの研修については、教職員の技能や指導力向上に繋がる講座を企画する	○「おび GIGA 支援員」の派遣や Google 本社から講師を招いた研修の実施。LGBT・ヤングケアラー等を取り上げた教職員研修の実施。指導主事による管理職や教職員への指導・助言。学力向上推進プロジェクトチームによる学級経営・授業改善ワンポイント講座の実施

教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員の働き方改革について、「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン」に基づき取り組む ○教職員の業務効率化のため、校務支援システムの導入について検討する ○教職員向けの研修については、オンラインの活用や対面方式での実施等、柔軟に対応できる体制作りを目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ○「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン(第2期)」の作成。帯広市HPで教育職員の時間外在校等時間の公表 ○令和4年度からの校務支援システムの導入へ向け検討 ○対面とオンラインを併用したハイブリッド方式による研修の実施
--------------	--	---

(3) 地域とともに育む教育の推進

⑩ 地域との連携・協働の推進

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の実践
地域における支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度中に全校でコミュニティ・スクールを導入するほか、目指す子ども像を実現するため、指導主事による学校教育指導訪問時に全国の好事例の情報提供をすすめる ○学校と地域との連携した活動や地域コーディネーターの研修等に取り組む ○こども学校応援地域基金を活用した支援を周知し、ボランティア団体同士の連携した活動の拡大をはかる 	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ・スクールの導入(17校)。コミュニティ・スクール通信の発行。指導主事による他校の好事例の提供 ○帯広市学校・家庭・地域協働会議や地域コーディネーター向け研修会の開催 ○こども学校応援地域基金を活用した活動への支援。支援周知のための広報おびひろ折込チラシの作成
子どもの安全対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知をすすめる ○通学路の安全確保ために、関係機関と情報の共有をはかり、危険個所の合同点検を実施する ○登録者の確保により「子ども110番の家」事業の拡充をはかる 	<ul style="list-style-type: none"> ○登下校時の見守り活動の実施。「帯広市子供安全ネットワーク」を活用した情報発信 ○通学路危険個所の点検と公表 ○「子ども110番の家」の設置(1,017か所)。登録者の拡大及び対応方法等を周知
地域主体の体験活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの居場所づくり事業において、実施方法やPR活動を工夫する ○青少年育成団体の各事業において、感染症対策を講じたうえで子どもたちが魅力を感じられるよう取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ○OPR活動として、壁新聞を用いた展示の実施。運営委員会において各校の実施内容の共有 ○宿泊を日帰りにする等感染症対策を講じながら実施できるよう内容の検討

⑪ 家庭教育への支援

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の実施
教育相談の充実	○教育相談員体制の充実と、より有効な教育相談員の活用をはかるため、配置日数の調整等の工夫をすすめる	○家庭訪問相談員や心の教育相談員の配置。配置日数の調整や相談員会議等における研修の実施
家庭教育力向上のための支援	○食育や消費者教育、人権教育等様々な視点から啓発をすすめるほか、「食育通信」の配付、図書館における絵本セットの内容の充実をはかる	○食育通信の配付。年齢別による絵本セットの貸出しの実施
P T A との連携の促進	○各校のPTAや帯広市PTA連合会等との情報交換をすすめるほか、関係団体への行政支援を継続し連携を深める	○帯広市 P T A 連合会へ補助金の支出や後援などによる支援の実施

⑫ 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の実施
学校間の連携の推進	○小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び整備をすすめる ○幼保・小・中における授業交流や乗り入れ授業をすすめるとともに、小中教員による部会を設定し、教育実践の交流や教育課題の共有をはかる	○「帯広市エリア・ファミリー構想」に基づき、教育課程の見直し及び整備の実施 ○職員間交流を通じた情報の共有
通学区域の見直しの実施	○通学距離、幹線道路、河川等の地理的条件や地域コミュニティとの整合性、一つの小学校から複数の中学校に分かれる分散進学の見直し等に配慮し、通学区域の見直しをすすめる	○「帯広市小中学校適正規模の確保等に関する計画」に基づく通学区域の整理及び検討。令和4年4月1日開校の大空学園義務教育学校における通学区域の見直し

(4) 安全・安心な教育環境の整備

⑬ 誰もが安心して学べる教育の推進

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の実施
いじめ・非行の防止	○いじめの未然防止や就学に対する支援等、誰もが安心して学ぶことができる環境の整備をすすめるほか、街頭巡回指導等や非行防止活動に取り組む	○いじめや人権について考え議論する場の設置。いじめ・不登校・非行等に関する対策委員会等による啓発活動。街頭巡回活動、声掛け指導の実施
不登校への対応	○教育相談員の専門性の向上をはかる研修や、個々に応じた相談体制の充実をすすめる	○関係機関との連携および教育相談員の専門性の向上をはかる研修の実施
教育機会の確保	○就学や通学に関わる経済的な支援をすすめる ○スクールバスの安定的な運用のため、車両更新や運転手の確保について検討する ○市内高校の間口を維持・確保するため、「帯広市高等学校間口対策協議会」を通して、情報収集や要望活動を行う	○就学援助費の支給および奨学金の貸与 ○スクールバスの定期的な点検と修繕の実施 ○市内高校の間口の維持・確保のため、「公立高等学校配置計画地域別検討協議会」での情報収集
一人ひとりに応じた教育の充実	○教育相談体制の充実をはかるとともに、特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備をすすめる ○教職員向けの研修により、LGBT等やヤングケアラー等の理解促進の取り組みをすすめる	○教育相談の実施。小中学校における特別支援学級の開設 ○LGBT等の当事者を招いた研修の実施

⑭ 安全で充実した教育環境の整備

主な取り組み	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の実施
学校施設の整備	○計画的かつ継続的な修繕により、学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善を行い、教育環境の整備をすすめる	○小中学校においては、大空学園義務教育学校改修工事、煙突用断熱材除去、ボイラー改修、トイレ洋式化、特別教室等網戸の整備。南商業高等学校においては、トイレ洋式化、屋内運動場バスケットゴール修繕、特別教室と屋内体育館への無線LAN整備、特別教室等への網戸の設置

学習環境の整備	<p>○小中学校においては、一人一台端末の活用範囲を拡大しながら、児童生徒が主体的に学び、自ら問題を発見し解決できる力の育成をはかる</p> <p>○南商業高等学校においては、商業に関する専門教育の実施や高度な資格取得に寄与するため、第一情報処理室等の情報機器の整備をすすめる</p>	<p>○一人一台端末の持ち帰りによる、自宅学習での活用。学校 ICT ヘルプデスクの設置</p> <p>○経済事情等によりコンピュータ端末やルーターの用意が困難な家庭の生徒に貸与するためのタブレット端末の整備</p>
学校適正規模確保の推進	<p>○児童生徒数及び学級数を推計し、その結果を市民へ情報提供する</p> <p>○「前期対象校」である大空中中学校の具体的な取り組みをすすめ、対象校以外の学校についても、学校の小規模化による影響の緩和をはかる</p>	<p>○児童生徒数及び学級数のホームページ上での公開</p> <p>○大空中中学校は大空小学校との施設一体型義務教育学校開校に向けて準備。対象校以外の小規模化による影響の緩和をはかるため、近隣校における交流授業の実施</p>

(5) 自ら学びともに支える生涯学習の推進

⑮ 学習活動の促進

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
学習機会や情報の提供	<p>○市民が参加しやすい学習機会を設けるほか、生涯学習情報誌「まなびや」により広く情報を提供する</p> <p>○図書館では、必要な情報を引き出しやすい仕組みづくりの検討をすすめる</p> <p>○百年記念館では、博物館ならではの講座の開催、展示の企画をすすめる</p> <p>○動物園では、従来の取り組みを継続しつつ、利用者のニーズに沿った効果的な事業となるよう取り組む</p>	<p>○市民大学講座の実施。生涯学習情報誌「まなびや」及び小学生向けの「まなびや特別号」の発行</p> <p>○帯広市電子図書館の開設。開館100周年記念誌の電子化</p> <p>○博物館講座や陶芸教室の実施。リウカHPのリニューアル及びアイヌ文化モバイルガイドの公開</p> <p>○対面形式の講座に加え、臨時閉園期間中のオンライン講座の実施</p>

⑩ 学習を通じたまちづくり

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
自主的な学習活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館では、帯広図書館友の会の役員と情報交換しながら連携を深める ○百年記念館では、ボランティア活動を行う人員の充実と知識向上のために学習の機会を設ける ○動物園では、ボランティアを行う学生等の活動主体が、自主的に活動できるよう支援する ○生涯学習推進委員会等の社会教育団体が行う多様な活動の支援を継続する 	<ul style="list-style-type: none"> ○帯広図書館友の会の活動に対するアドバイスの実施。語り手育成講習会の実施 ○ボランティアによるレコードの分類整理、マッチ箱展の実施 ○学生のボランティア活動に対する助言等の支援。 ○各団体への生涯学習情報の提供や各種事務補助、補助金や活動費の支援
地域の人材の育成・活用	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習指導者登録制度の認知度を高め、利活用をはかるため情報発信の強化に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ○市ホームページや SNS の活用による情報発信の強化

⑪ 社会教育施設の整備・管理運営

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
計画的な施設整備の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設マネジメント計画に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ○とちかちプラザにおけるアトリウム屋上防水補修工事、非常用蓄電池設備改修工事。児童会館における非常用自家発電設備更新工事实施設計委託、プラネタリウム投影機の更新と改修、遊び場（第二講堂）の改修。百年記念館におけるガス強制気化装置修繕、非常用発電機噴射ポンプ修繕、東側外部パネル目地修繕、動物園における第2高圧受電設備更新、給水管更新工事、冷凍庫室修繕、園路整備工事
適切な管理運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○とちかちプラザでは、指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスを継続する ○図書館では、類似的な業務について、包括的な管理委託が可能か検討する ○百年記念館では、利便性の向上をはかるほか、効果性・効率性にも配慮して管理運営をすすめる 	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者の節減努力による安定した運営の実施 ○業務の簡素化に向けた見直し ○常設展示室及びリウカの wi-fi 環境・アイヌ文化のデジタルコンテンツの整備 ○魅力アップ方針に基づいた、新しい施設整備の検討。業務委託契約の更新

	<p>○動物園では、地域に根差した魅力ある動物園と感じられる取り組みをすすめる</p> <p>○児童会館では、科学展示室での展示やプラネタリウム投影等を行い、学びと遊びの機能の充実に取り組む</p>	<p>○プラネタリウム投影機の更新と改修。新たな遊具の設置</p>
--	---	-----------------------------------

(6) 人が輝く文化芸術活動の推進

⑱ 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の実施
市民文化芸術活動の促進	<p>○市民に発表の機会や交流の場を提供する事業を継続する</p> <p>○とちかちジュニア文芸文章教室を開催し、読解力・表現力の向上をはかる</p> <p>○市民の文化芸術活動を支援するため、学校施設の開放事業を継続する</p>	<p>○市民芸術祭、新人演奏会の開催</p> <p>○とちかちジュニア文芸文章教室（詩、小説・童話、俳句）の開催</p> <p>○学校施設の開放事業の実施</p>
文化活動団体の活動支援・指導者育成	<p>○文化団体等の活動情報提供を継続するほか、文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行う</p>	<p>○ホームページなどの活用による文化団体の活動情報の提供。帯広市文化賞等による表彰(3個人・1団体)</p>
文化芸術の鑑賞機会の提供	<p>○市民が文化芸術に直接触れる機会を提供する</p> <p>○市民に芸術の鑑賞機会を提供できるよう、北海道立帯広美術館の特別企画展への参画を継続する</p>	<p>○感染状況に応じた国や道のイベント開催の指針等に従い、感染症対策を行いながらコンサート等の実施</p> <p>○北海道立帯広美術館企画展「水木しげる 魂の漫画展」への参画</p>

⑲ 文化資源の継承・活用

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の実施
文化財等の調査・保存・活用	<p>○文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行う。「八千代A遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、計画的に取り組む</p>	<p>○十勝鉄道蒸気機関車・客車の保守点検委託等による文化財の管理、史跡標示板の修繕。埋蔵文化財センターを中心に開発行為と埋蔵文化財保護の調整。重要文化財「八千代A遺跡出土品」を活用した学校用教材の作成。ぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車4号及び客車コハ23号の公開</p>

アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助、及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存伝承をすすめる	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助金による活動の補助。伝統的生活空間（イオル）再生事業として古式舞踊の披露や植物観察会等の実施。アイヌ文化とのふれあいゾーンの形成事業、常設展示室のアイヌ文化モバイルガイドの整備
市史資料収集・保存	○「年史報告書」を作成するとともに、令和4年度の帯広開拓140年、市制施行90年の周年事業をみすえた資料収集事業を行う	○令和2年度「年史報告書」の作成。収集事業資料の公開事業として古文書の連続講座の実施

⑩ 文化施設の整備・管理運営

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
計画的な施設整備の実施	○公共施設マネジメント計画に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○文化ホールでは、吸収式冷温水発生器の更新、真空遮断器不足電圧継電器の改修。市民ギャラリーでは、展示室壁塗装修繕、冷暖房機修繕、非常用バッテリー及び女子トイレ部品修繕
適切な管理運営の推進	○適切な管理運営と利用者サービスを維持する	○文化ホールでは指定管理者の節減努力による安定した運営の実施 ○市民ギャラリーでは管理委託にあたっての効率的な管理、利用者ニーズの把握

(7) 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

⑪ 多様なスポーツ活動の促進

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の取組み
スポーツの振興	○競技大会への優秀選手等の派遣支援やスポーツ賞・スポーツ奨励賞により表彰するほか、市民へのスポーツ観戦機会の提供や各競技団体と協力の上、合宿の受入体制を整備する	○スポーツ賞等による団体、個人への表彰。各種全国・全道大会等の誘致や開催支援、合宿・プロスポーツ等の誘致を通して市民へのスポーツ観戦機会の提供

スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	○活動時の安全確保に関する指導者への研修等を通して、スポーツ少年団へ安心して加入できる環境づくりをすすめる	○スポーツ少年団本部及び帯広市スポーツ協会への支援。スポーツ少年団指導者やスポーツ推進委員の育成等の支援
スケート競技の振興	○地域における各種競技スポーツの競技者人口の拡大や競技力の向上に取り組むほか、大会等の開催を支援する ○スケート競技の普及促進に向けて取り組む	○日本学生氷上競技選手権大会をはじめとする各種大会等の開催支援 ○「ほっとドリームプロジェクト」の実施。明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放

② スポーツによる活力のあるまちづくり

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の実施
地域スポーツの振興	○地域でスポーツ活動をする人材や団体の育成を支援する ○学校施設の開放において、学校現場等への感染症の影響に配慮したうえで、市民へのスポーツ活動の場を提供する	○スポーツ推進委員の人材確保及び育成。総合型地域スポーツクラブ運営の支援 ○利用者等に向けて感染予防に関する情報提供をしたうえで、市民へのスポーツ活動の場を提供
スポーツ大会合宿等誘致	○感染症対策を講じて地域の安全を確保したうえで各競技団体と協力して合宿等受入体制の整備をすすめる	○日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会の開催。プロ野球公式戦の有観客による開催。フードパレーとかちマラソン大会のオンライン方式による開催

③ スポーツ施設の整備・管理運営

主な取り組み	昨年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和3年度の実施
計画的な施設整備の実施	○公共施設マネジメント計画に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○帯広の森スポーツセンター天井塗装改修工事、帯広の森野球場スタンド躯体改修工事、帯広の森陸上競技場フェンス改修工事、帯広の森市民プールプールサイド床改修工事(I期)
適切な管理運営の推進	○指定管理者制度、及び地域住民や団体の協力による管理運営を実施するほか、老朽化の進んだ施設の計画的な改修とともに、指定管理者との連携による施設の効率的な運営をすすめる	○スポーツ施設における指定管理者制度の導入。パークゴルフ場における市民協働による管理運営の実施